

多摩市の世論 平成20年度

第31回 多摩市政世論調査 概要版

調査の内容

・調査対象者の特性

- | | |
|--------------|----------------------|
| (1) 性別 | (6) 家族人数 |
| (2) 年齢 | (7) 家族形態 |
| *p2 (3) 職業 | *p3 (8) 65歳以上の高齢者の有無 |
| (4) 就業場所 | (9) 居住地 |
| *p3 (5) 居住形態 | (10) ライフステージ |

・質問内容

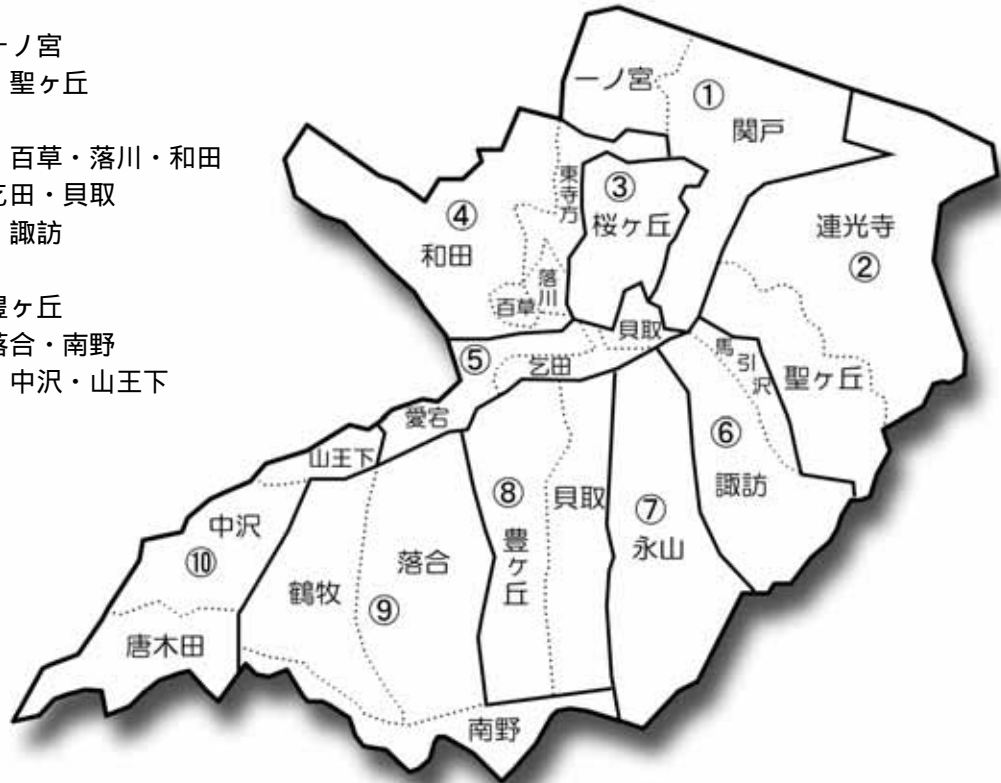
- 1. 定住意向**
*p3 (1) 以前住んでいた所
*p4 (2) 転入理由
*p4 (3) 居住年数
(4) 市内転居回数
*p4 (5) 定住意向
*p5 (6) 市外へ転出したい理由
- 2. 生活環境**
*p5 (1) 住みよさの総合評価
*p6 (2) 生活環境の総合評価
- 3. 地域活動と生涯学習**
*p6 (1) 地域活動の現況と意向
*p7 ・現在参加している地域活動
*p7 ・これまでに参加したことがある地域活動
*p7 ・現在参加していないが今後してみたい地域活動
*p7 (2) 行政が力を入れるべき地域活動
*p8 (3) 生涯学習の現況と意向
*p8 ・現在学習している項目
*p8 ・これまでに学習したことがある項目
*p8 ・現在学習していないが今後学習してみたい項目
- 4. 暮らし向き**
(1) 暮らし向きの変化
(2) 暮らし向きの悪化理由
*p9 (3) 日常生活の悩み・不安
- 5. 窓口対応の満足度**
*p9 (1) 市役所及び出張所の窓口サービスの満足度
*p9 (2) 職員の対応についての満足度
(3) 満足、不満足の原因
*p9 (4) 事務処理の対応についての満足度
(5) 満足、不満足の原因
*p10 (6) 市役所及び出張所の窓口サービスへの要望
- 6. 市政への要望**
*p10 (1) 多摩市に必要な施設〔市内全域の施設〕
*p11 (2) 多摩市に必要な施設〔身近な地域の施設〕
(3) 商店街の満足度
(4) 商店街に満足している理由
(5) 商店街に不満足な理由
(6) 市内にほしい商業施設〔駅周辺〕
(7) 市内にほしい商業施設〔自宅周辺〕
(8) 市内にほしい商業施設〔幹線道路沿い〕
(9) 各市政の満足度
*p11 (10) 行政に力を入れてほしいこと
- 7. 環境問題の関心**
*p12 (1) 関心のある地域レベルの環境問題
- 8. 市政への関心**
*p12 (1) 市政への関心度
(2) 市政に関心のない理由
- 9. 市施設の利用状況**
*p13 (1) 市施設の周知度と利用状況
- 10. 男女平等について**
*p14 (1) 男女の地位の平等性についての認識
*p14 (2) 行政が力を入れるべき男女平等施策
- 11. 食育について**
*p15 (1) 「食育」の周知度
*p15 (2) 食事バランスガイドの周知度
*p16 (3) 食事を楽しく食べているか
(4) 自分自身は健康と思うか
*p16 (5) 食に関する講習会や行事への参加経験
- 12. 農業について**
*p17 (1) 多摩市の農業についての周知度
*p17 (2) 市内産農産物の購入経験
*p18 (3) 市内農業への要望
*p18 (4) 市民参加型農業への参加意向
*p18 (5) 市民参加型農業への参加希望内容
- 13. 多摩センター地区の活性化について**
*p19 (1) 多摩センター地区の賑わい状況
*p19 (2) 多摩センター地区の賑わいの今後について
*p19 (3) 今後多摩センター地区に望む施設やイベント
- 14. 交通対策について**
*p20 (1) 路線バスの利用頻度
*p20 (2) どのような目的で路線バスを利用するか
*p21 (3) ミニバスを利用状況
*p21 (4) ミニバスの利用頻度
*p22 (5) どのような目的でミニバスを利用するか
*p22 (6) ミニバスを利用しない理由
*p22 (7) ミニバスの必要性
*p23 (8) どのような目的でミニバスを必要性とするか
*p23 (9) ミニバスは必要ないとする理由
- 15. 第五次多摩市総合計画について**
*p23 (1) 「多摩市戦略プラン」の周知度
*p24 (2) 「戦略プラン」個別項目で重要と思うもの
・個別項目で重要と思うもの
・個別項目で市民の役割が重要と思うもの
- 16. 生活の中での実感**
*p25 (1) 日常生活での実感 (~)
~ 27
*p27 (2) 現在の健康状態
(3) 健康維持のため実践していること
(4) かかりつけの医師の有無
(5) かかりつけの歯科医師の有無
- 17. インターネット**
*p28 (1) インターネットの利用状況
(2) インターネットの接続環境
*p28 (3) 多摩市公式ホームページの閲覧状況
*p29 (4) 多摩市公式ホームページの閲覧記事
- 18. たま広報**
(1) 「たま広報」の講読度
(2) 「たま広報」の関心がある記事
- 19. エフエム多摩**
(1) 「エフエム多摩」の周知度
(2) 「エフエム多摩」で知りたい情報
- 20. 多摩テレビ**
(1) 「多摩テレビ」の周知度
(2) 「多摩テレビ」で知りたい情報
(3) 「多摩テレビ」未加入の理由

* 印はこの冊子で紹介した質問です。数字は本冊子内のページ数を示しています。

地域別区分図

地域別集計では、市内を17の地域、10のブロック（図中の丸数値）に分けて集計しています。

- 関戸・一ノ宮
- 連光寺・聖ヶ丘
- 桜ヶ丘
- 東寺方・百草・落川・和田
- 愛宕・乞田・貝取
- 馬引沢・諏訪
- 永山
- 貝取・豊ヶ丘
- 鶴牧・落合・南野
- 唐木田・中沢・山王下



《集計にあたっての注意事項》

百分率の基数は、回答者数 1,704 を 100%としています。（ただし、質問によって該当者を 100%とする場合は、質問ごとに基数 n を明示しています。）

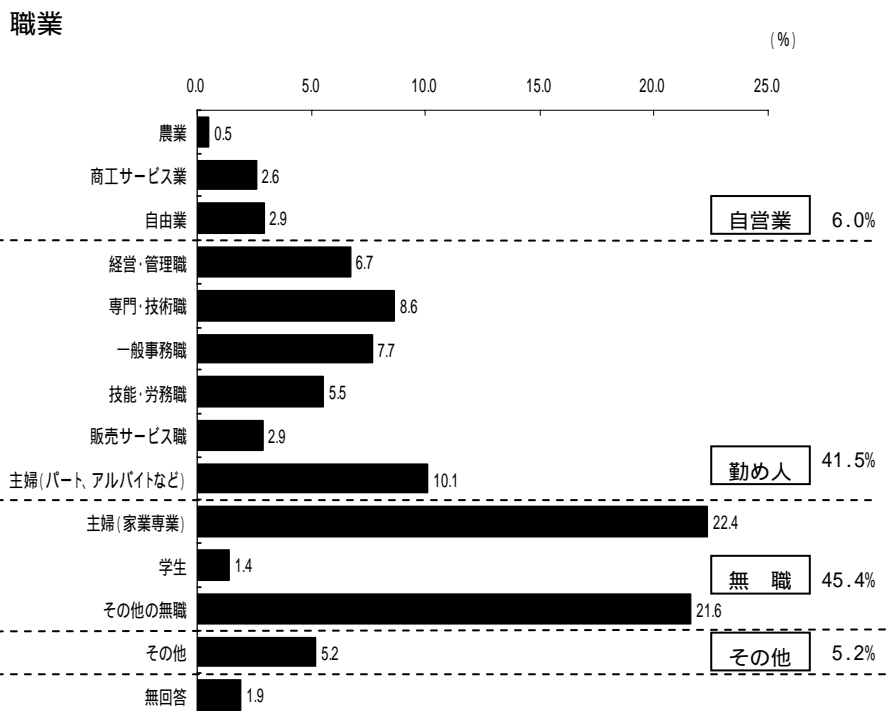
図表中の百分率の数値は、小数点第 2 位で四捨五入しているため、百分率の合計が 100%にならない場合があります。

1 人の回答者が複数の回答をする複数回答の設問においては、百分率の合計が 100%を上回る場合があります。

- (3) 調査対象者の特性（職業）

問 .あなたの職業はどれにあたりますか。
(1 つだけ)

職業は「主婦（家業専業）」が 22.4%と最も高くなっています。
回答者の職業を「自営業」「勤め人」「無職」「その他」に分類すると、「無職」が 45.4%と最も高くなっています。

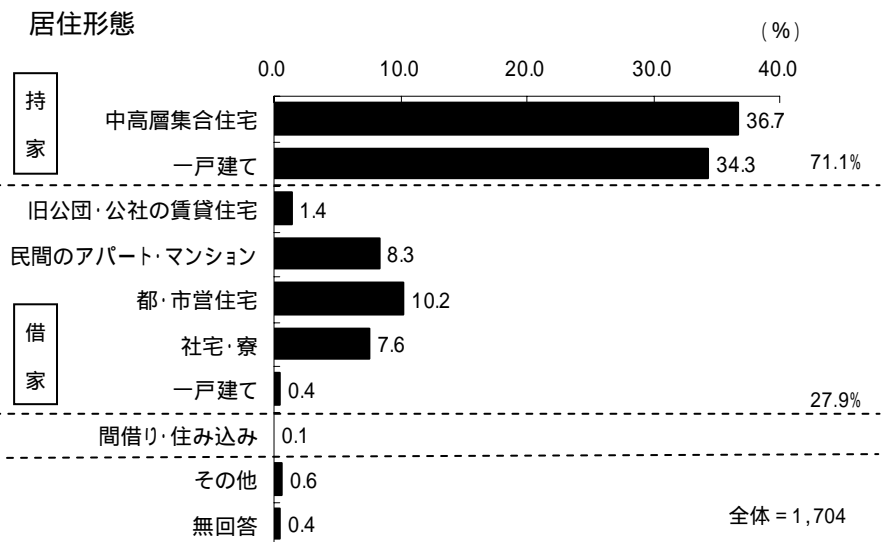


全体 = 1,704

- (5) 調査対象者の特性 (居住形態)

問.あなたのお住まいはどれにあ
たりますか。
(1つだけ)

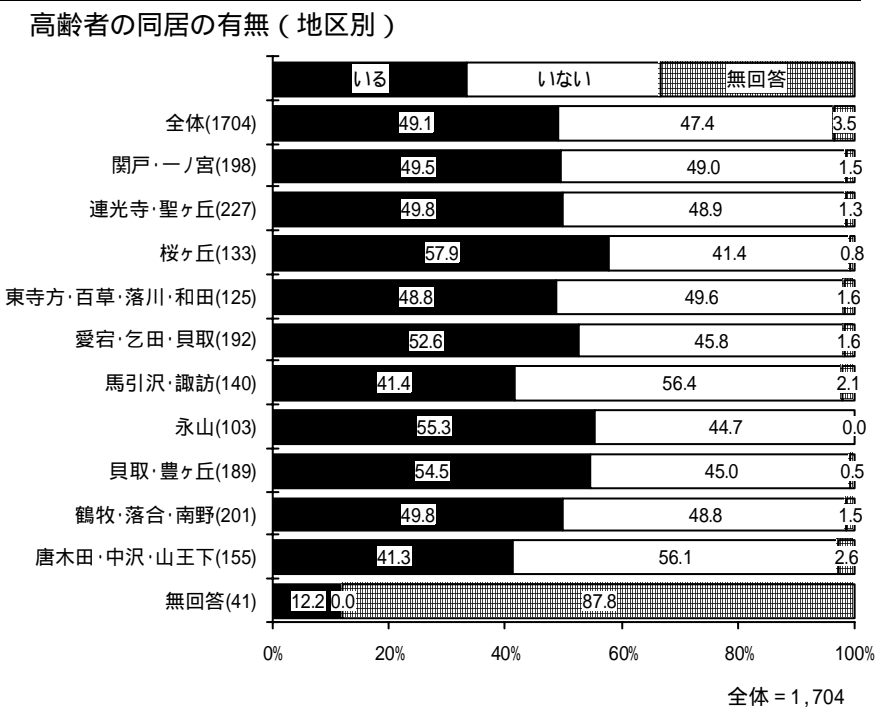
持家の「中高層集合住宅」が
36.7%と最も高くなっています。
持家は全体の71.1%を占めて
おり、借家は27.9%となってい
ます。



- (8) 調査対象者の特性 (65歳以上の高齢者の有無)

問.あなたのご家庭には、65歳
以上の方がいらっしゃいますか。
(1つだけ)

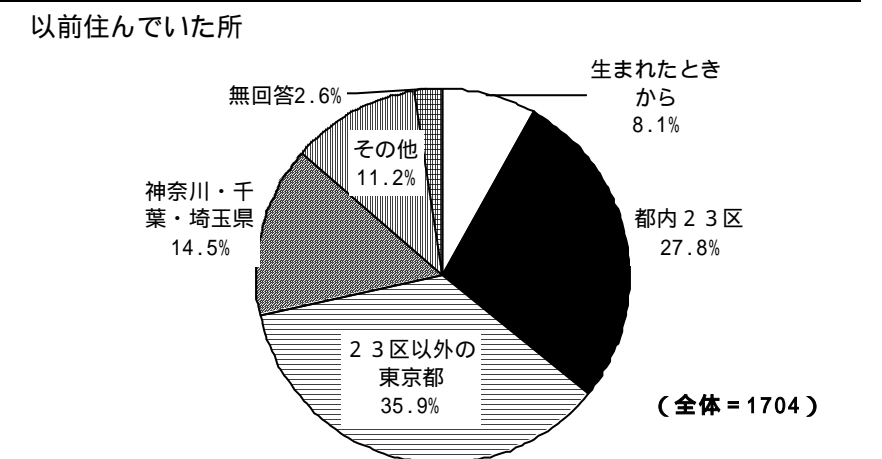
全体では、家庭に65歳以上の
高齢者が「いる」という家庭が多
く、49.1%となっています。
地域別では、桜ヶ丘地域で65
歳以上の高齢者がいる家庭の割
合が57.9%と最も高くなってい
ます。また、馬引沢・諏訪地域で
は「いない」割合が56.4%と最
も高くなっています。



- 1 - (1) 前住地

問.あなたは多摩市に住む前はど
ちらにお住まいでしたか。
(1つだけ)

多摩市外からの転入者が89.3%
を占め、「生まれたときから」市
内に住んでいる人は8.1%にとど
まっています。

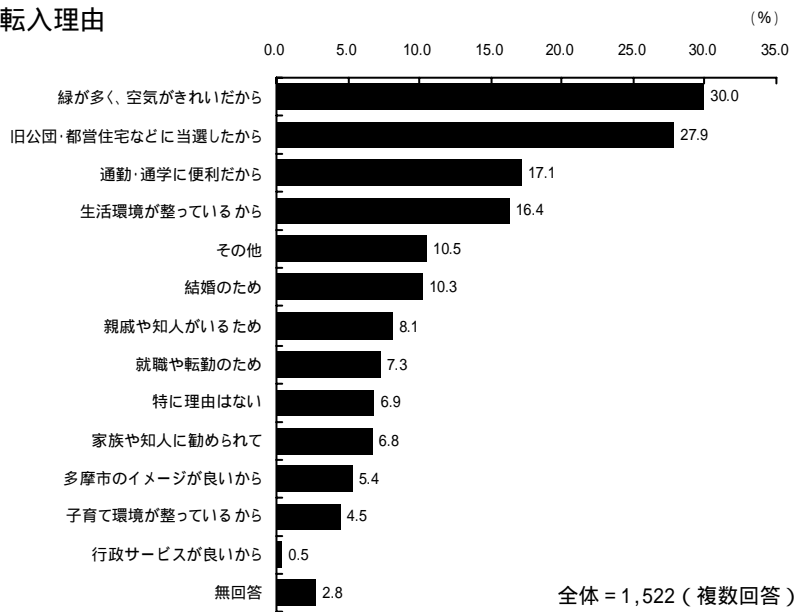


- 1 - (2) 転入理由

問．多摩市に移ってこられた理由は何ですか。
(いくつでも)

「緑が多く、空気がきれいだから」、「旧公園・都営住宅等に当選したから」がそれぞれ約3割を占め、転入の主な理由となっています。

転入理由



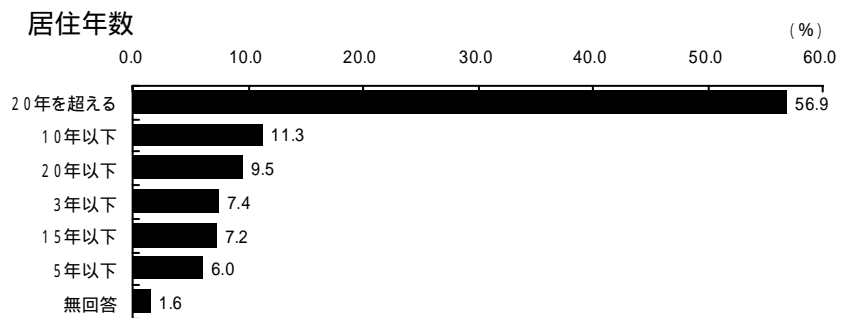
- 1 - (3) 居住年数

問．あなたは多摩市にお住まいになって、何年ぐらいになりますか。
(1つだけ)

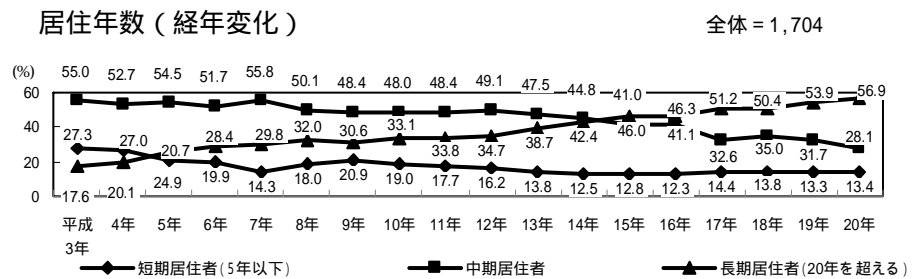
「20年を超える」が56.9%と最も高く、過半数を超えています。

経年変化をみると、ここ3年間は、ほぼ横ばいで推移しています。昨年度に比べて“長期居住者”は増加、“中期居住者”は昨年度よりやや減少に転じています。

居住年数



居住年数 (経年変化)

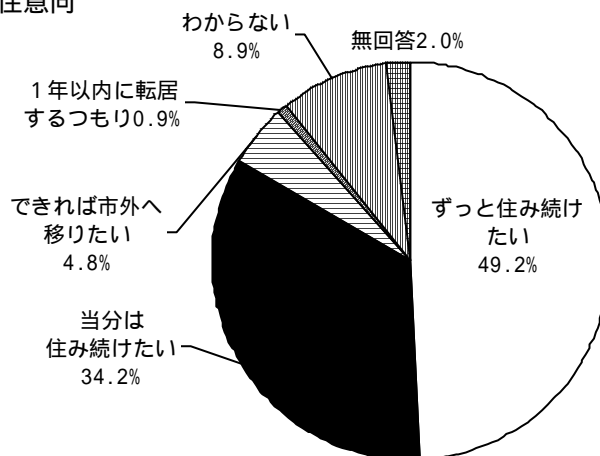


- 1 - (5) 定住意向

問．あなたはこれからも多摩市に住み続けたいと思いますか。
(1つだけ)

「当分は住み続けたい」と「ずっと住み続けたい」をあわせた“定住派”が83.4%を占めています。

定住意向



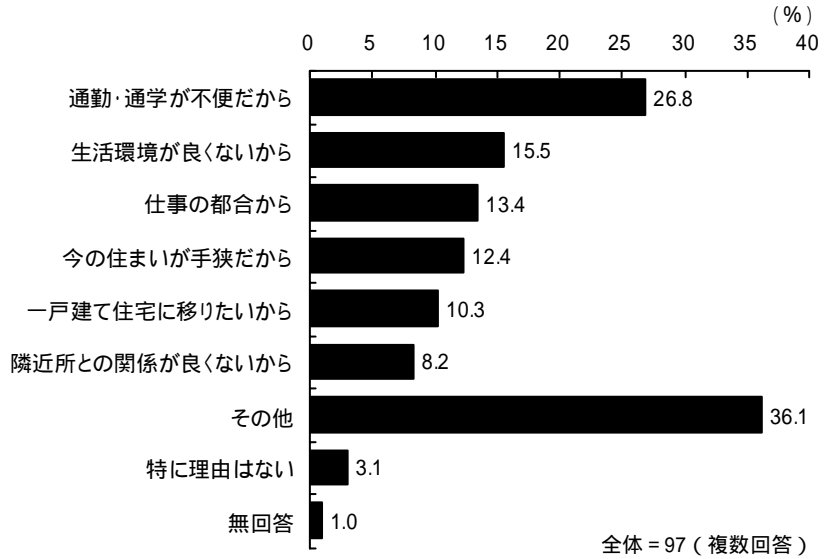
(全体 = 1704)

- 1 - (6) 市外へ転出したい理由

問．あなたが市外へ転出したい理由は何ですか。
(いくつでも)

「通勤・通学が不便だから」が最も高く、26.8%を占めています。次いで「生活環境が良くないから」15.5%、「仕事の都合から」13.4%、の順となっています。

市外へ転出したい理由



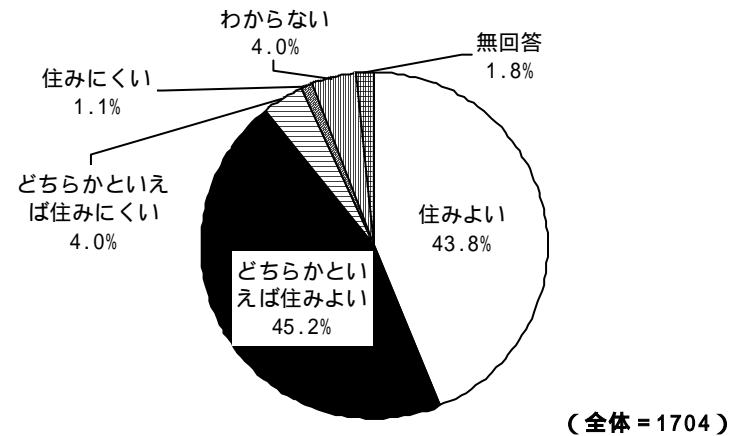
- 2 - (1) 住みよさの総合評価

問．あなたは総合的にみて、多摩市は住みよいまちだと思いますか。
(1つだけ)

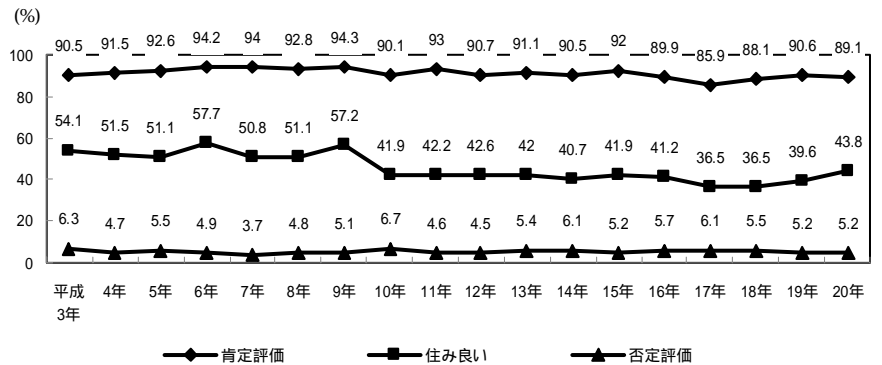
「どちらかといえば住みよい」と「住みよい」をあわせた“肯定評価”が89.0%を占めています。また、「どちらかといえば住みにくい」4.0%、「住みにくい」1.1%をあわせた“否定評価”は5.1%にとどまっています。

平成3年以降の推移をみると、“肯定評価”、“否定評価”とも横ばいの推移となっていますが、平成19年以降「住みよい」は増加の傾向がみられます。

住みよさの総合評価



住みよさの総合評価 (経年変化)



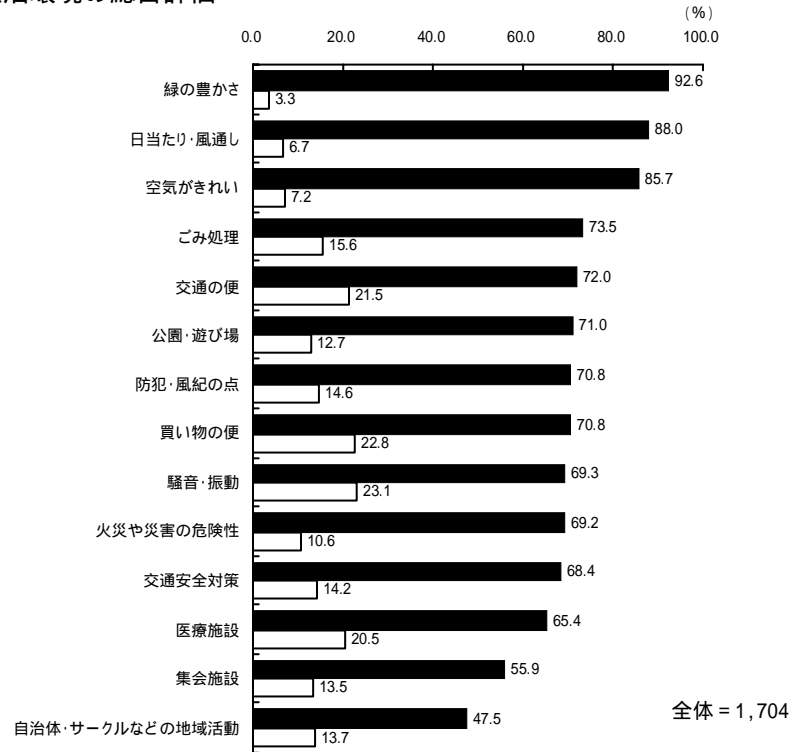
- 2 - (2) 生活環境の総合評価

問．あなたはお住まいの地域の環境について、どのような感想をお持ちですか。
(1つだけ)

評価が高い項目は、「緑の豊かさ」「日当たり・風通し」「空気がきれい」などの自然環境面となっており、それぞれ8割以上を占めています。次いで「ごみ処理」「交通の便」「公園・遊び場」「防犯・風紀の点」「買い物の便」が7割以上を占め高くなっています。

これに対して、評価が低い項目は、「騒音・振動」「買い物の便」「交通の便」「医療施設」などとなっており、利便性や快適性に関する項目が挙げられています。

生活環境の総合評価



良い：「良い」と「どちらかといえば良い」の合計
悪い：「悪い」と「どちらかといえば悪い」の合計

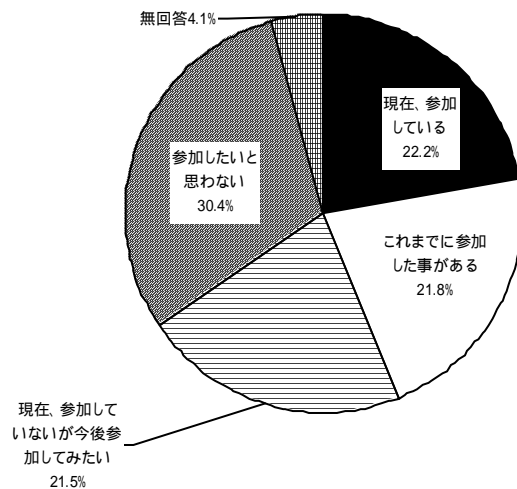
- 3 - (1) 地域活動の現況と意向

問．あなたは現在、地域活動や行事、またはボランティア活動に参加していますか。
(1つだけ)

地域活動の参加状況は「参加したいと思わない」が最も高く、30.4%を占めています。

「参加したいと思わない」と「現在参加していないが、今後参加してみたい」をあわせた“現在参加していない”は51.9%と半数以上を占めています。

地域活動に対する現況と意向



- 3 - (1) 地域活動の現況と意向

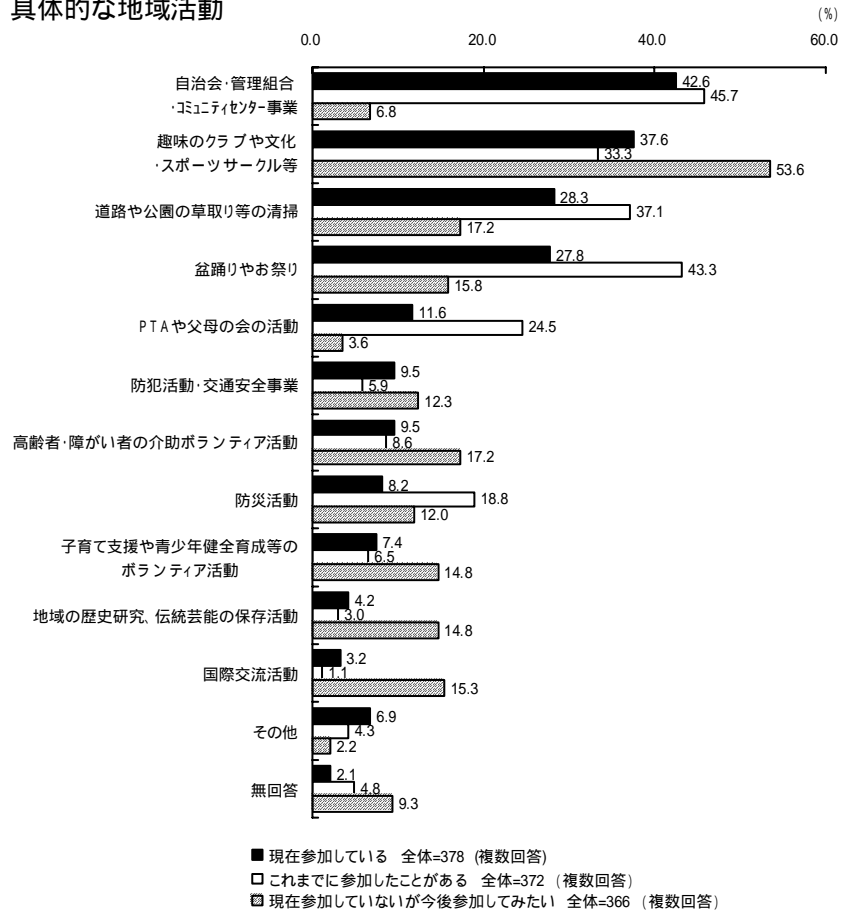
問．地域活動等に「現在参加している」「これまでに参加したことがある」「現在参加していないが、今後参加してみたい」とお答えの方はその地域活動等をお答え下さい。

(いくつでも)

現在参加している、今後参加してみたい地域活動では「自治会・管理組合・コミュニティセンター事業」、「趣味のクラブや文化・スポーツサークル等」が高い割合を占めています。

これまでに参加したことがある地域活動では、「自治会・管理組合・コミュニティセンター事業」、「盆踊りやお祭り」が高い割合を占めています。

具体的な地域活動

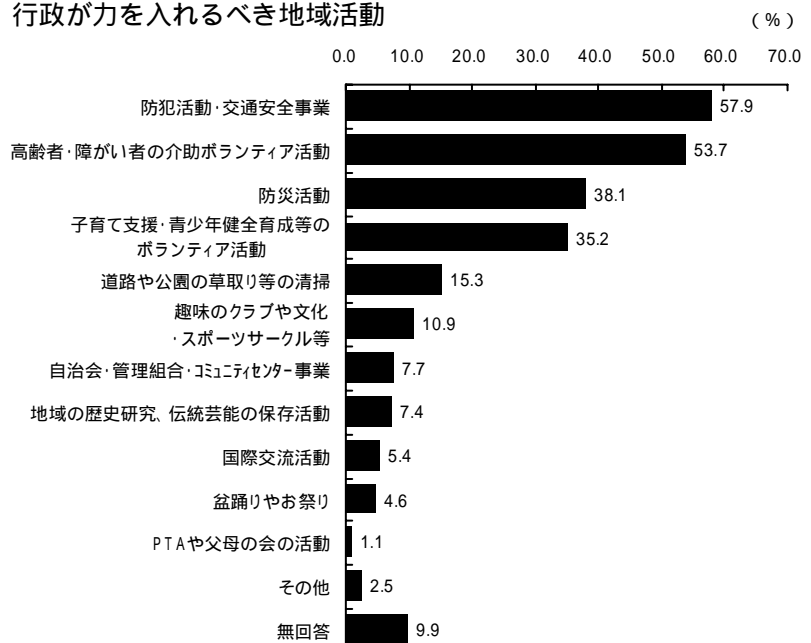


- 3 - (2) 行政が力を入れるべき地域活動

問．あなたが行政が力を入れるべきだと思う地域活動等をお答え下さい。(3つまで)

行政が力を入れるべき地域活動等は「防犯活動・交通安全事業」57.9%が最も高く、次いで「高齢者・障がい者の介助ボランティア活動」53.7%、「防災活動」38.1%、「子育て支援や青少年健全育成等のボランティア活動」35.2%の順となっています。

行政が力を入れるべき地域活動



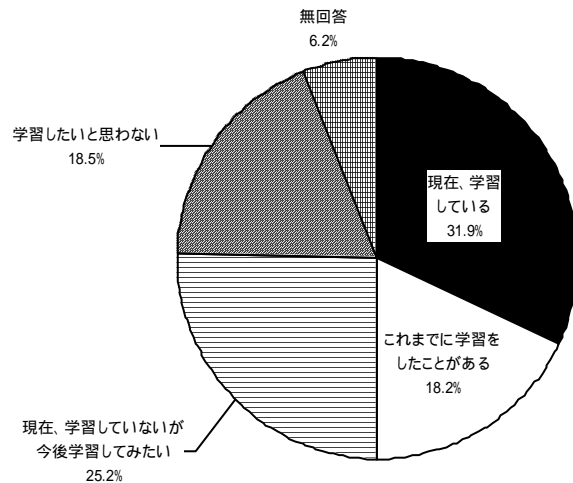
全体 = 1,704 (複数回答)

- 3 - (3) 生涯学習の現況と意向

問．あなたはこの1年くらいの間に、教養を高めるための学習等をしたことがありますか。（1つだけ）

教養を高めるための学習については「現在学習している」31.9%が最も高く、次いで「現在は学習していないが今後学習してみたい」25.2%となっています。

生涯学習の経験



全体 = 1,704

- 3 - (3) 生涯学習の現況と意向

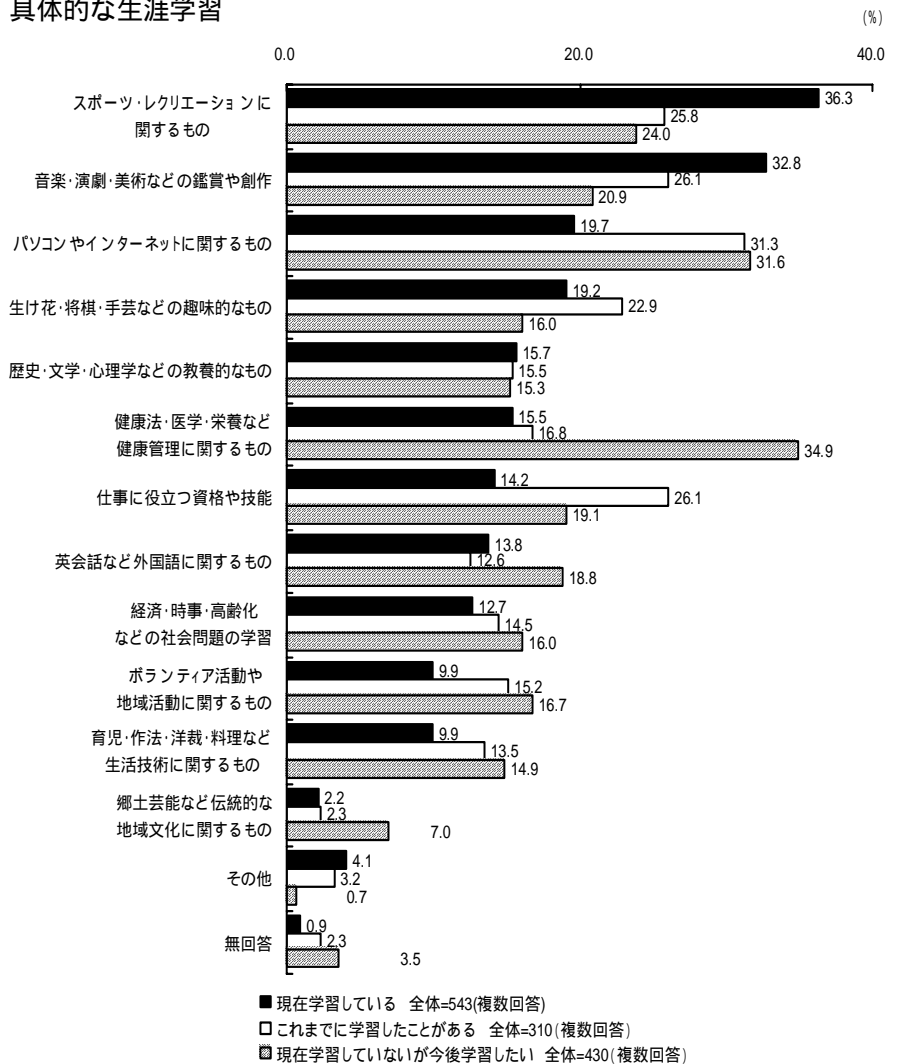
問．教養を高める学習を「現在学習している」「これまでに学習したことがある」「現在学習していないが、今後学習してみたい」とお答えの方はその学習内容をお答え下さい。

（いくつでも）

現在学習しているものは、「スポーツ・レクリエーションに関するもの」「音楽・演劇・美術などの鑑賞や創作」が高くなっています。

今後学習したいものは、「健康法・医学・栄養など健康管理に関するもの」「パソコンやインターネットに関するもの」が高くなっています。

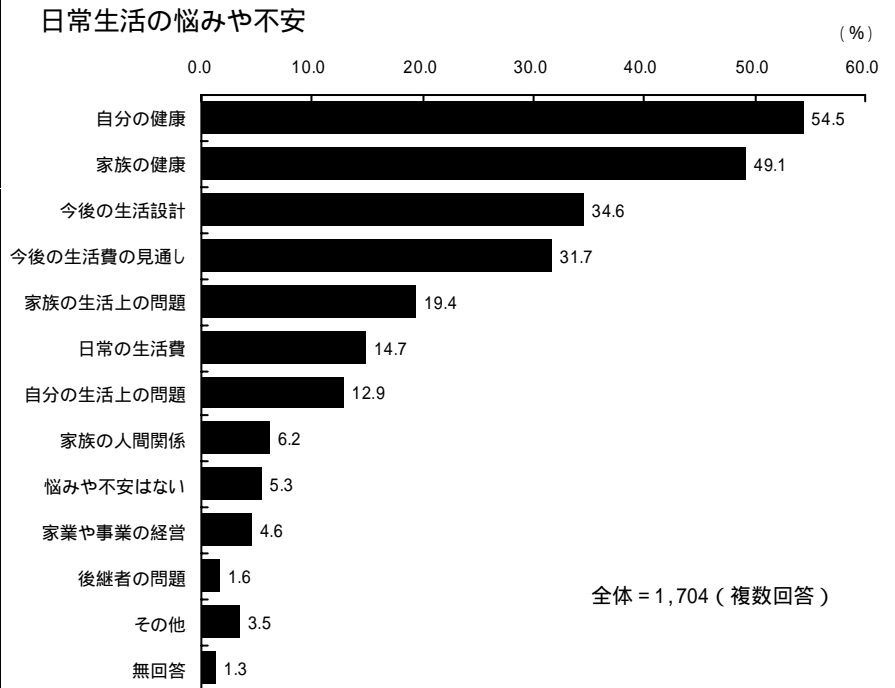
具体的な生涯学習



- 4 - (3) 日常生活の悩み・不安

問．あなたは日常生活の中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。
(3つまで)

「自分の健康」54.5%「家族の健康」49.1%がともに5割前後を占めており、健康に関する悩みや不安が高くなっています。次いで「今後の生活設計」34.6%、「今後の生活費の見通し」31.7%と今後の生活への不安が高くなっています。



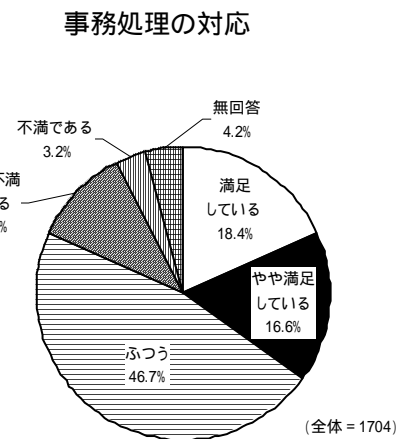
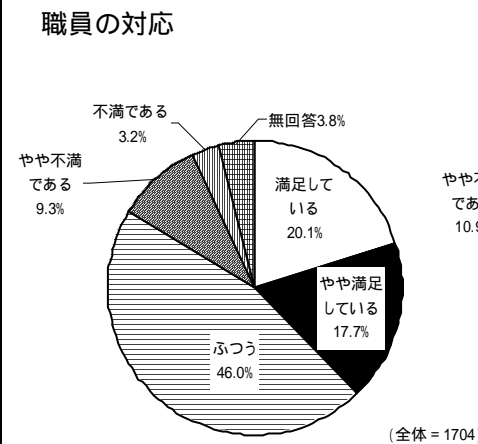
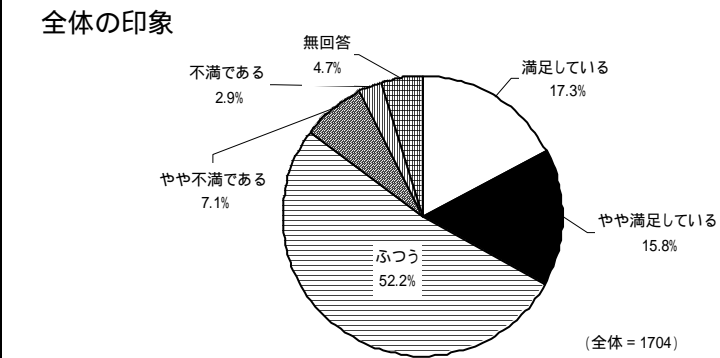
- 5 - (1)(2)(4) 窓口対応の満足度

問．市役所及び出張所の窓口サービスについて、どのように感じていますか。
(それぞれ1つだけ)

窓口サービス業務に関しては、各項目とも「ふつう」と感じる意見が約半数を占めています。

各項目とも「満足」「やや満足」をあわせた“満足”は、3割以上を占めています。

また、各項目とも「不満」「やや不満」をあわせた“不満”は1～1.5割程度となっています。

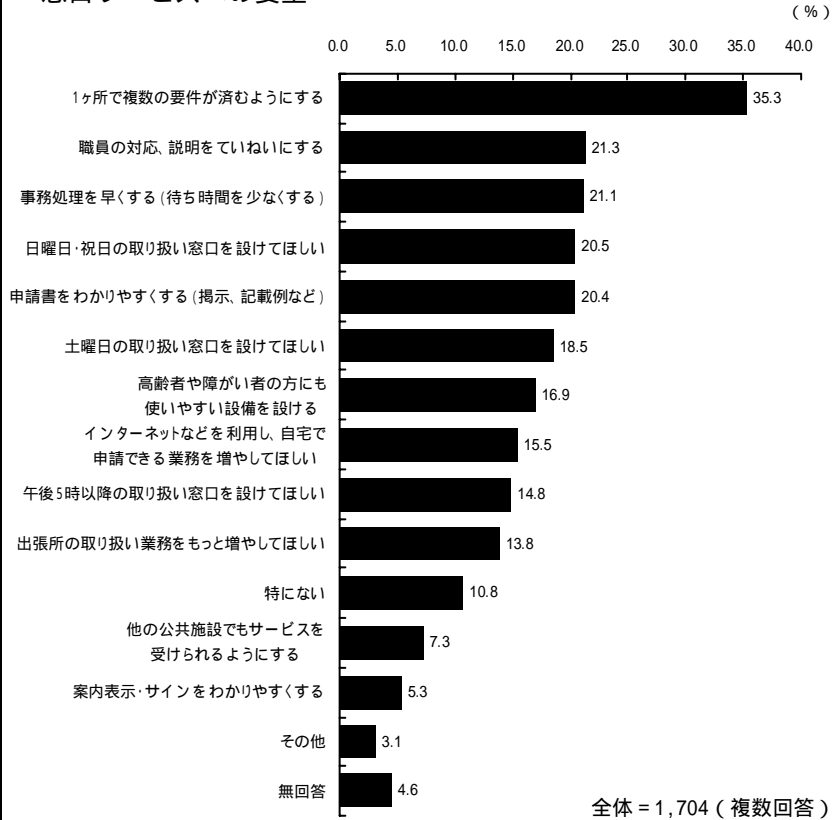


- 5 - (6) 窓口サービスへの要望

問．あなたが市役所や出張所の窓口サービスに対して、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。
(3つまで)

「1ヶ所で複数の要件が済むようにする」が35.3%と最も高くなっており、次いで「職員の対応、説明をていねいにする」21.3%、「事務処理を早くする」21.1%、「日曜・祝日の取り扱い窓口を設けてほしい」20.5%、「申請書をわかりやすくする」20.4%の順となっています。

窓口サービスへの要望



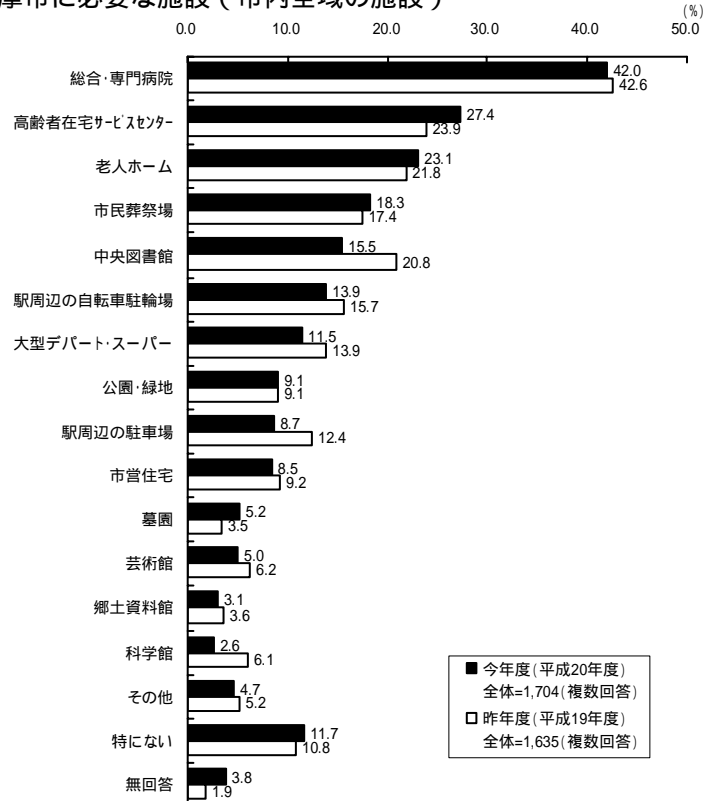
- 6 - (1) 市政への要望 (市内全域で必要な施設)

問．あなたは現在の多摩市に、特にどのような施設が必要だと思いますか。
(市内全域) (3つまで)

「総合・専門病院」が42.0%と最も高くなっており、次いで「高齢者在宅サービスセンター」27.4%、「老人ホーム」23.1%、「市民葬祭場」18.3%の順となっています。

昨年度の結果と比べると、「高齢者在宅サービスセンター」「老人ホーム」「市民葬祭場」等でポイントが増加しています。

多摩市に必要な施設 (市内全域の施設)



- 6 - (2) 市政への要望（身近な地域で必要な施設）

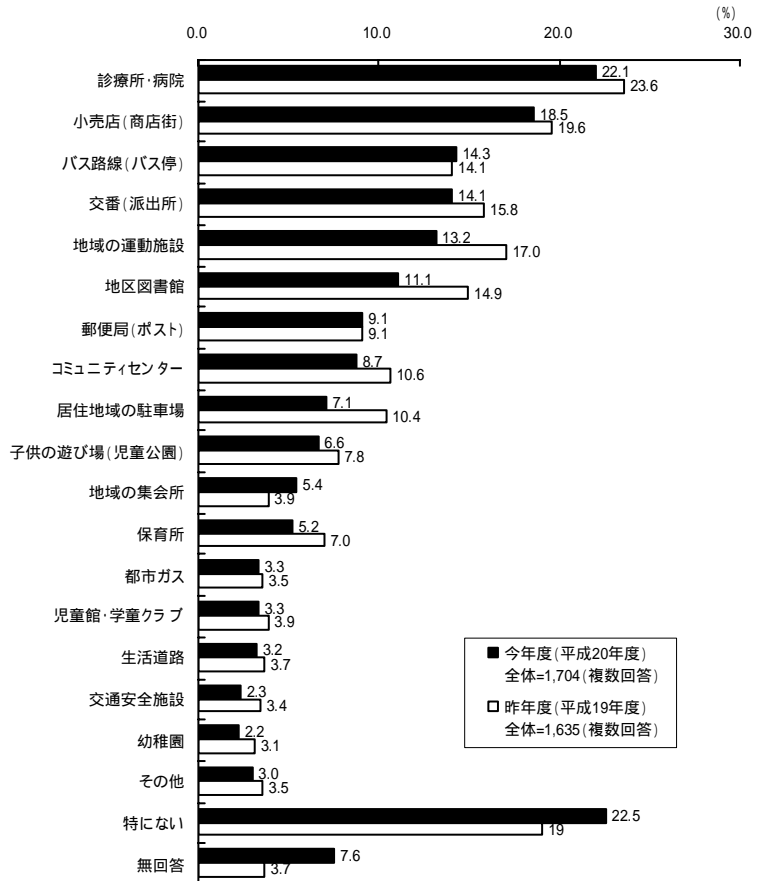
問．あなたは現在の多摩市に、特にどのような施設が必要だと思いますか。

（身近な地域）（3つまで）

「診療所・病院」が22.1%と最も高くなっており、次いで「小売店（商店街）」18.5%、「バス路線（バス停）」14.3%、「交番（派出所）」14.1%の順となっています。

昨年度の結果と比べると、各項目とも横ばいまたは減少傾向となっています。もっとも増加が大きいのは「地域の集会所」（1.5ポイント増）となっています。

多摩市に必要な施設（身近な地域の施設）



- 6 - (10) 市政への要望（行政に力を入れてほしいこと）

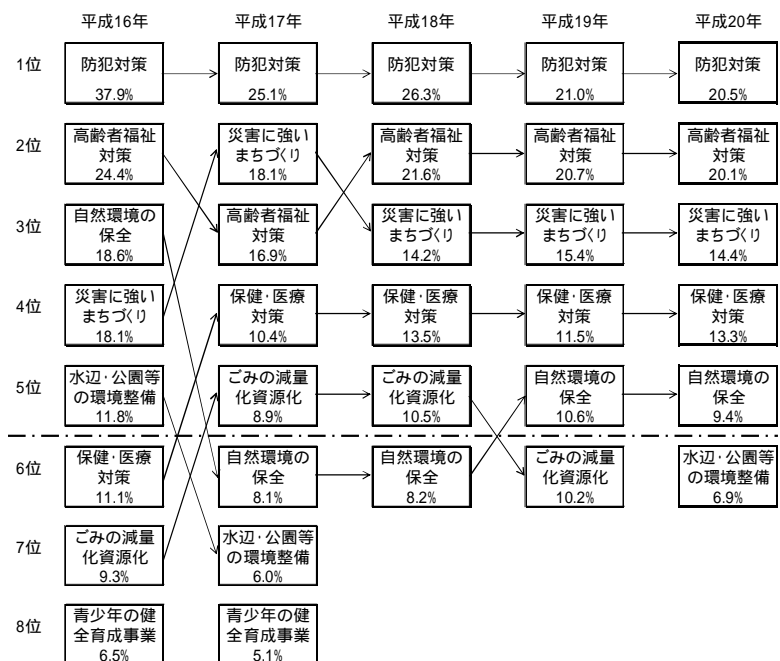
問．あなたが行政に対してこれから特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。

（3つまで）

「防犯対策」が20.5%と最も高くなっており、次いで「高齢者福祉対策」20.1%、「災害に強いまちづくり」14.4%の順となっています。

「防犯対策」は5年連続で第1位となっています。前年度と比較すると、ほぼ同様の順位となっています。

これから力を入れてほしいこと（経年変化）



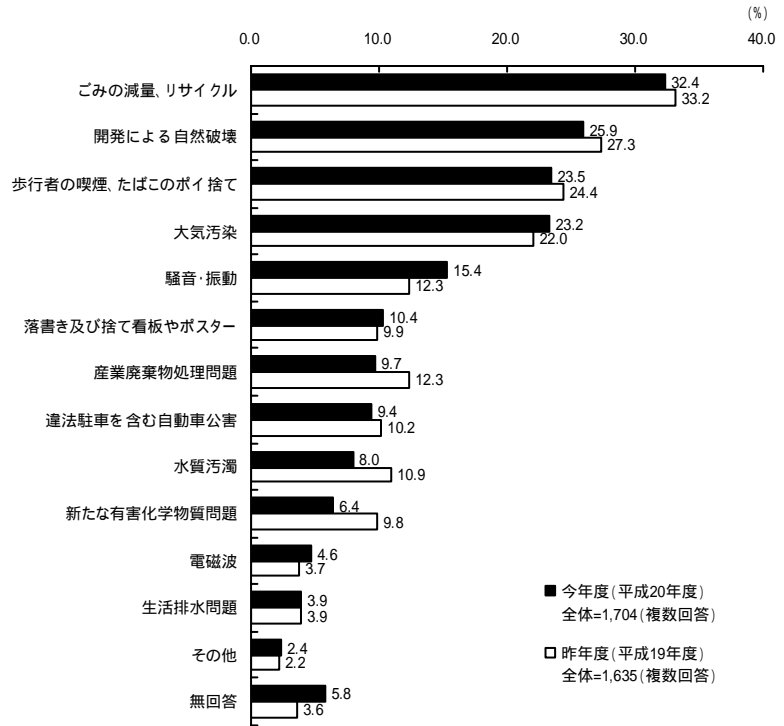
- 7 - (1) 環境問題の関心

問.あなたが地域レベルの環境問題について、特に関心のある項目はどれですか。
(2つまで)

「ごみの減量、リサイクル」が32.4%と最も高く、次いで「開発による自然破壊」25.9%「歩行者の喫煙、たばこのポイ捨て」23.5%の順に高くなっています。

昨年度の結果と比べると、増加している項目は「騒音・振動」(3.1ポイント増)、「大気汚染」(1.2ポイント増)、「電磁波」(0.9ポイント増)となっています。

関心のある地域レベルの環境問題



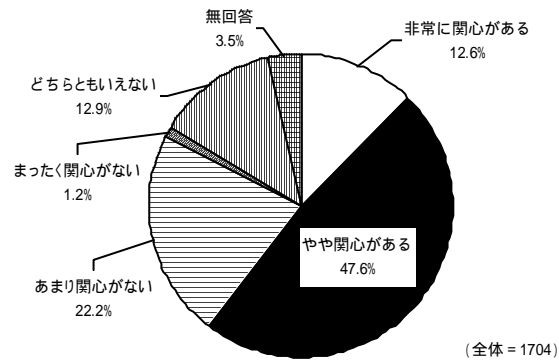
- 8 - (1) 市政への関心

問.あなたは市政について、どの程度関心を持っていますか。
(1つだけ)

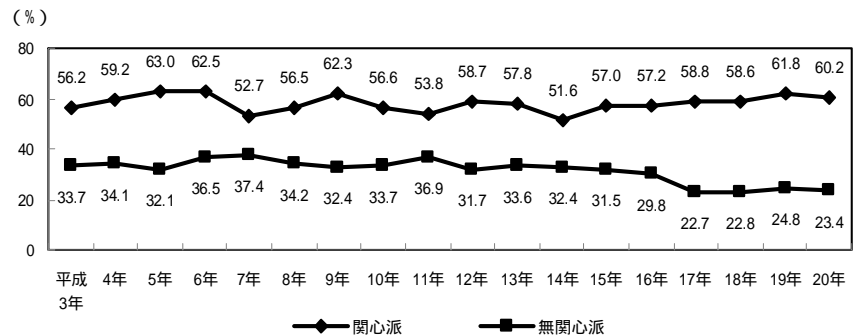
「非常に関心がある」と「やや関心がある」をあわせた“関心派”が60.2%を占めています。

経年変化をみると“関心派”“無関心派”(「まったく関心がない」+「あまり関心がない」)とも、平成17年度以降ほぼ横ばいとなっています。

市政への関心度



市政への関心(経年変化)



- 9 - (1) 市施設の周知度と利用状況

次にあげる多摩市の施設について、あなたは知っていますか。また、利用したことはありますか。(それぞれ1つだけ)

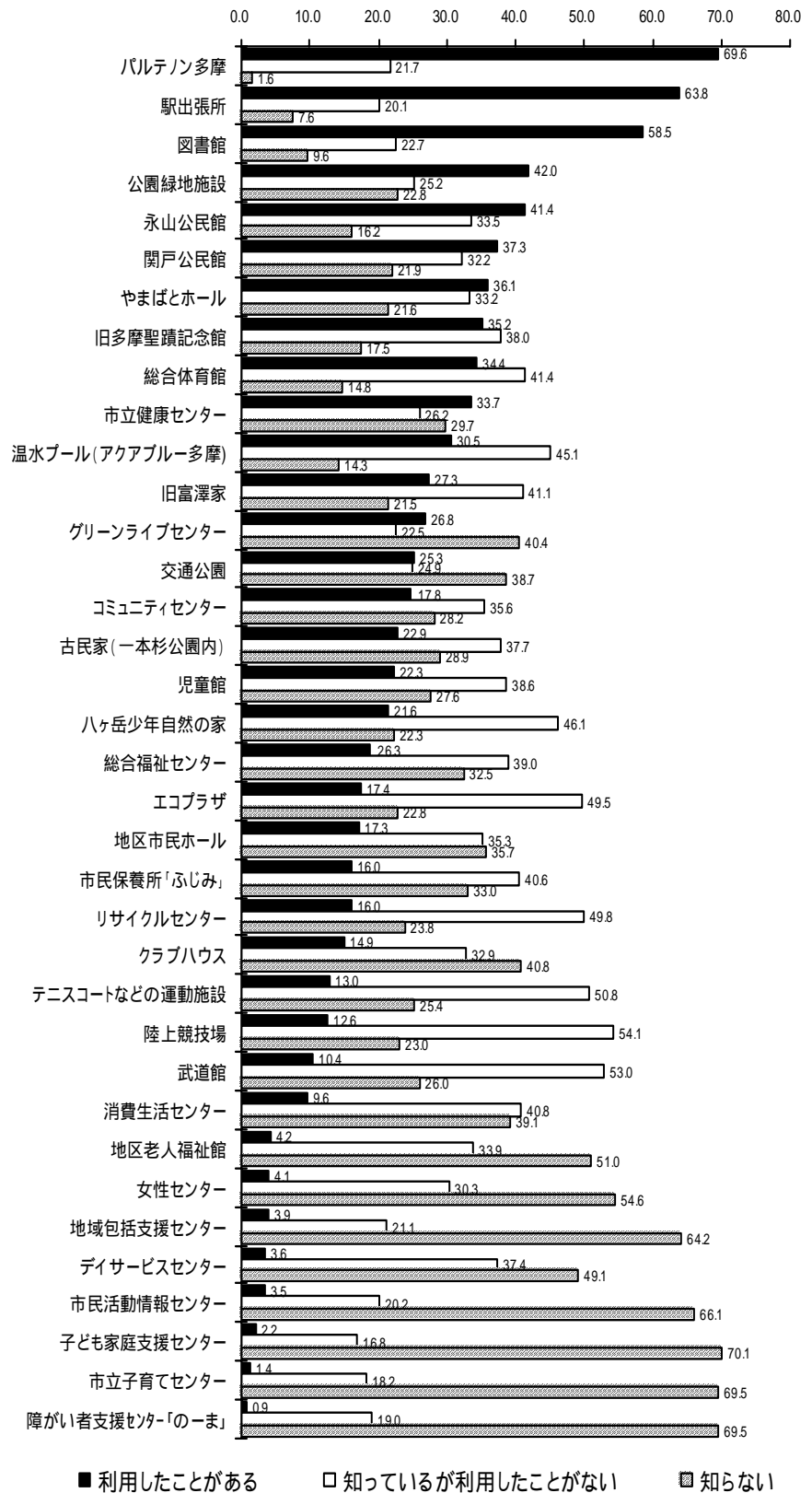
利用したことがある施設では「パルテノン多摩」が69.6%と最も高く、次いで「聖蹟桜ヶ丘、多摩センター駅出張所」、「図書館」、「多摩中央公園・原峰公園等の公園緑地施設」の順となっています。

知っているが利用したことがない施設では「陸上競技場」が54.1%と最も高く、次いで「武道館」「テニスコートなどの運動施設」の順となっています。

また、福祉施設などの利用者が限られている施設はあまり知られていない結果となっています。

市施設の周知度と利用状況

(%)



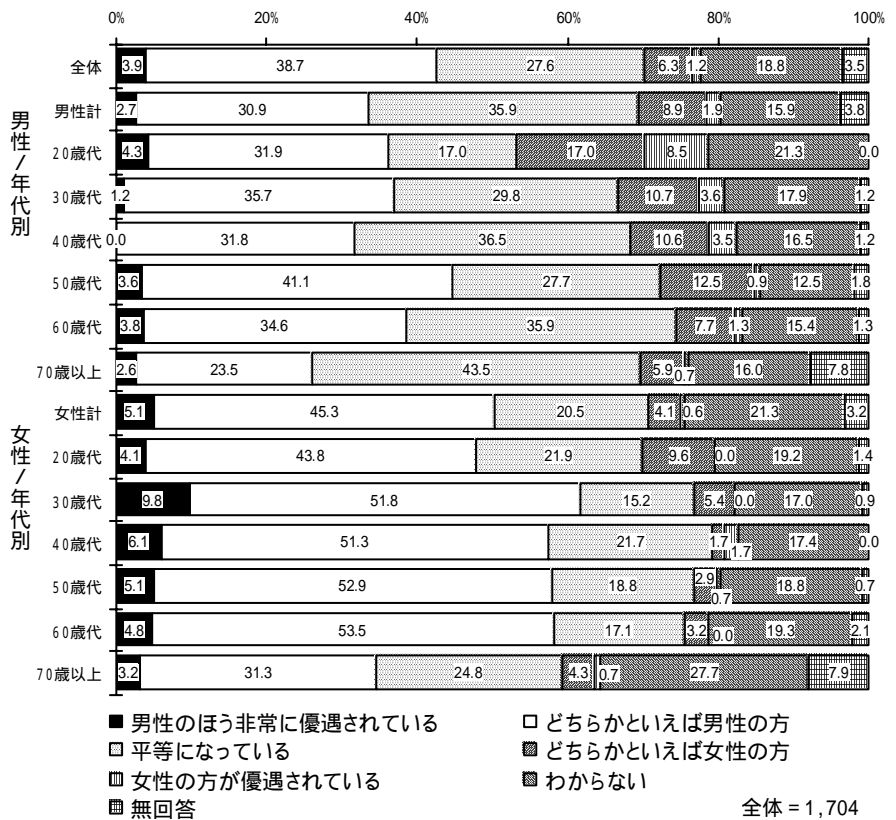
全体 = 1,704

- 10 - (1) 男女の地位の平等性についての認識

問. あなたは現在、家庭・地域・制度・慣習などを通して男女の地位は平等になっていると思いますか。(1つだけ)

男女の地位は平等になっているかは、「男性のほうが非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」を合わせた“男性優遇派”は42.6%で半数近くを占めています。性・年齢別にみると、“男性優遇派”は女性のほうが年代を問わず高く、また“女性優遇派”は男性の20歳代～40歳代の比較的若い層で高くなっています。

男女の地位の平等性についての認識(性・年代別)

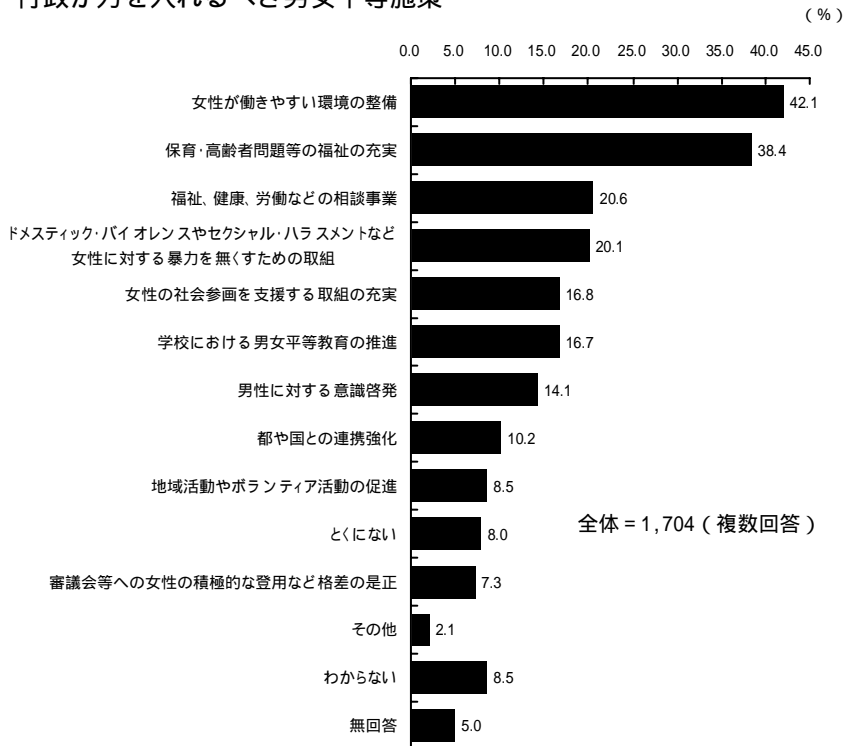


- 10 - (2) 行政が力を入れるべき男女平等施策

問. これから多摩市が推進する男女平等施策のうち、どのようなことに力をいれていったらよいと思いますか。(3つまで)

男女平等施策のうち、どのようなことに力をいれていったらよいかは、「女性が働きやすい環境の整備」(42.1%)が最も高く、次いで「保育・高齢者問題等の福祉の充実」(38.4%)、「福祉、健康、労働などの相談事業」(20.6%)となっています。

行政が力を入れるべき男女平等施策



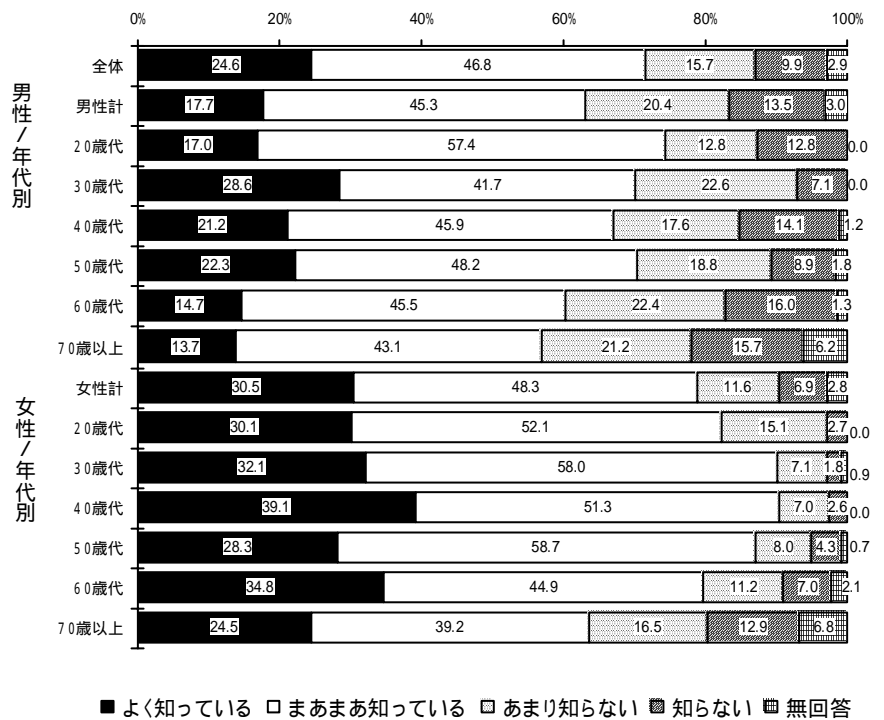
- 11 - (1) 「食育」の周知度

問. 「食育」という言葉を知っていますか。
(1つだけ)

「食育」という言葉について知っているかは、「よく知っている」、「まあまあ知っている」の両者を合わせた「知っている派」は7割を超えています。

性別にみると、「知っている派」は男性より女性のほうが高くなっています。中でも、女性の「30歳代」～「50歳代」の周知度が高くなっています。

「食育」の周知度(性・年代別)



全体 = 1,704

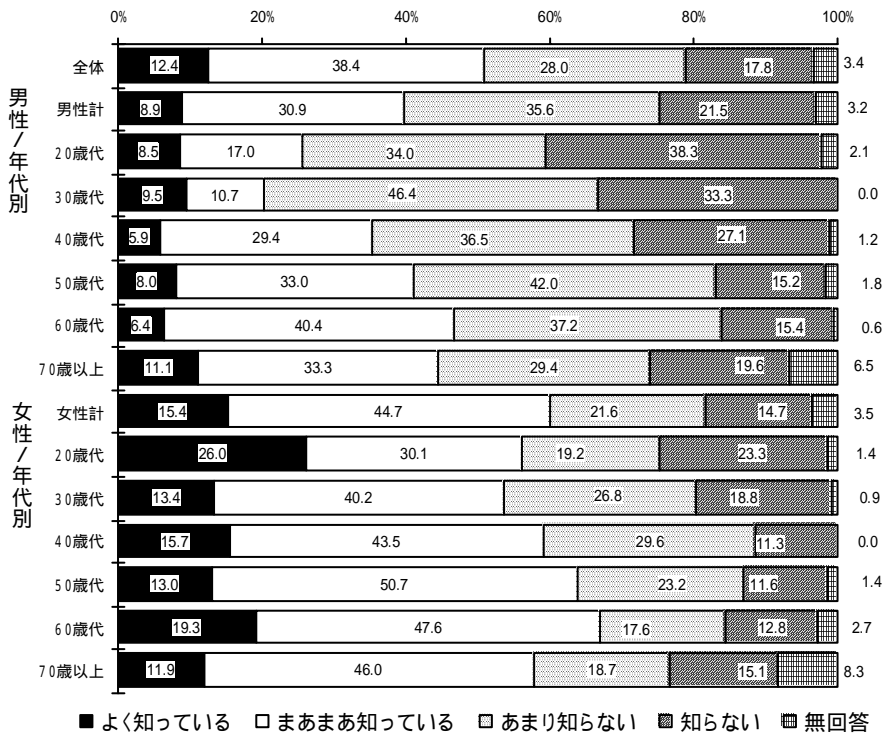
- 11 - (2) 食事バランスガイドの周知度

問. 「食事バランスガイド」を知っていますか。
(1つだけ)

「食事バランスガイド」について知っているかは、「よく知っている」、「まあまあ知っている」の両者を合わせた「知っている派」は約5割を占めています。

性別にみると、「知っている派」は男性より女性のほうが高くなっています。

食事バランスガイドの周知度(性・年代別)



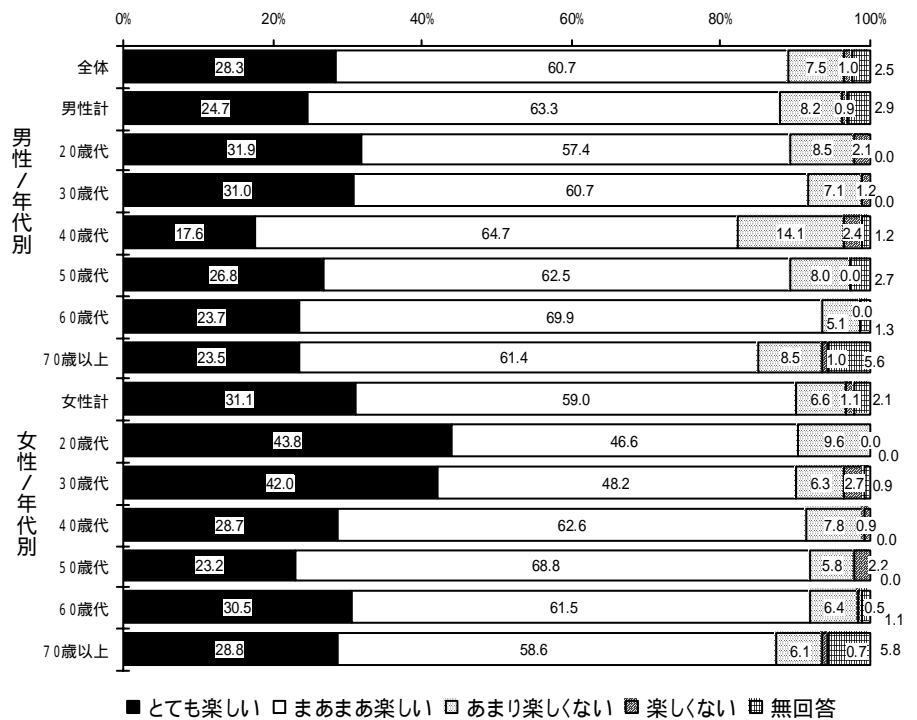
全体 = 1,704

- 11 - (3) 食事を楽しく食べているか

問. 現在、あなたは食事を楽しく食べていますか。
(1つだけ)

食事を楽しく食べているかについてみると、「とても楽しい」「まあまあ楽しい」が約9割となっています。「とても楽しい」は、女性の「20歳代」、「30歳代」40%を越え、高くなっています。

食事を楽しく食べているか(性・年代別)



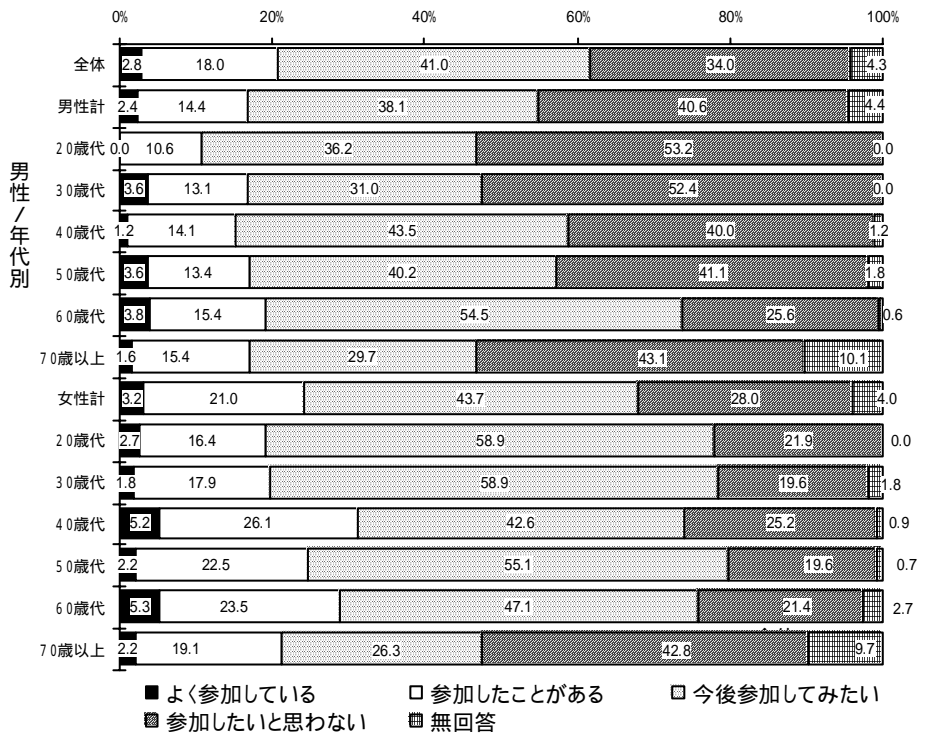
全体 = 1,704

- 11 - (5) 食に関する講習会や行事への参加経験

問. この1年くらいの間に、食に関する講習会や行事などに参加したことがありますか。
(1つだけ)

食に関する講習会等への参加経験(「よく参加している」「参加したことがある」)は20.8%となっています。性別では女性のほうが高く、特に「40歳代」から「60歳代」で高くなっています。

食に関する講習会や行事への参加経験(性・年代別)



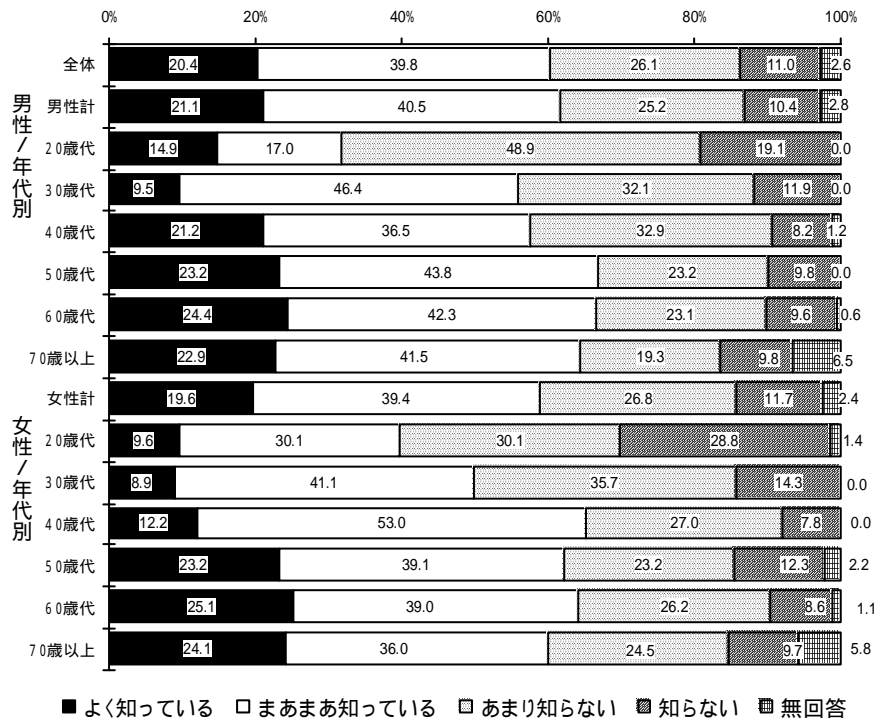
全体 = 1,704

- 12 - (1) 多摩市の農業についての周知度

問.多摩市で農業が行われていることは、ご存知ですか。
(1つだけ)

多摩市で農業が行われていることについての認識は、「よく知っている」、「まあまあ知っている」をあわせた“知っている派”が6割を占めています。男女とも「20歳代」の“知っている派”は低くなっています。

多摩市の農業についての周知度(性・年代別)



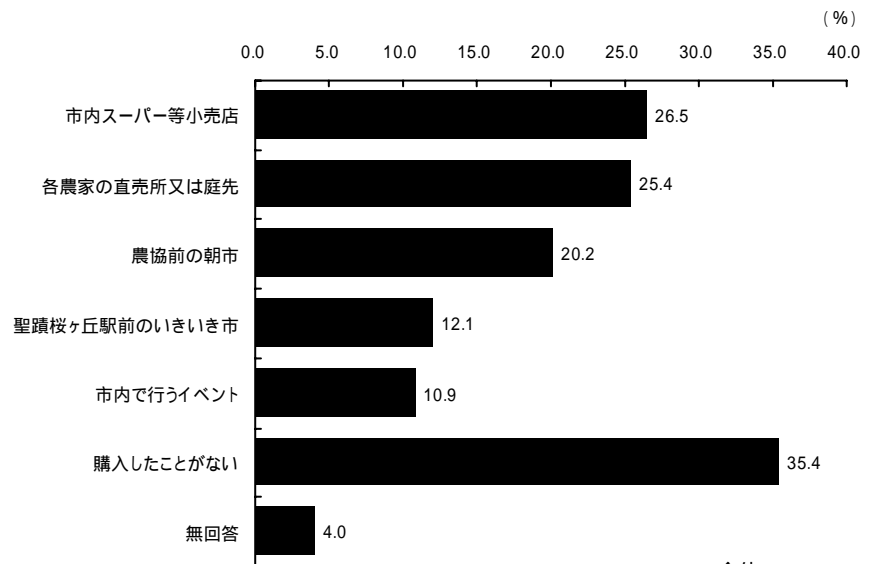
全体 = 1,704

- 12 - (2) 市内産農産物の購入経験

問.市内産農産物の購入経験について。
(いくつでも)

市内産農産物の購入は約6割のかたが経験しており、「市内スーパー等小売店」26.5%「各農家の直売所又は庭先」25.4%が高くなっています。

市内産農産物の購入経験

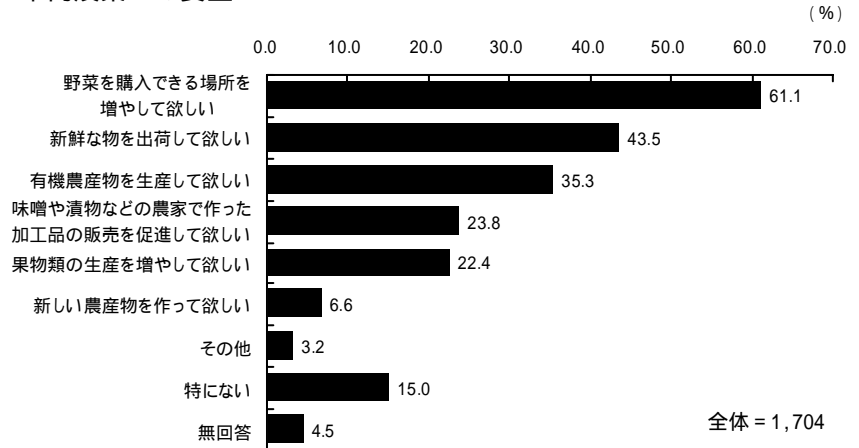


- 12 - (3) 市内農業への要望

問．市内農業への要望について。
(いくつでも)

市内農業への要望は、「野菜を購入できる場所を増やして欲しい」61.1%、「新鮮な物を出荷して欲しい」43.5%、「有機農産物を生産して欲しい」35.3%が高くなっています。

市内農業への要望

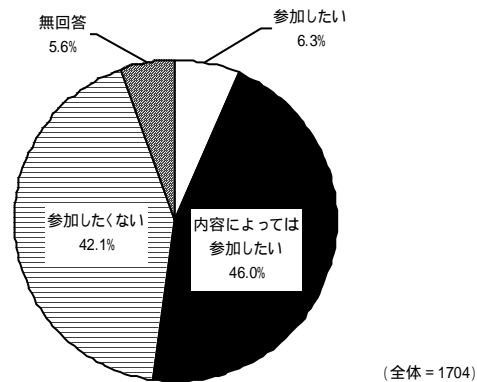


- 12 - (4) 市民参加型農業への参加意向

問．市民参加型農業に参加してみたいと思いますか。
(1つだけ)

市民参加型農業への参加意向は、「参加したい」6.3%、「内容によっては参加したい」46.0%と、参加希望が5割を越えています。

市民参加型農業への参加意向

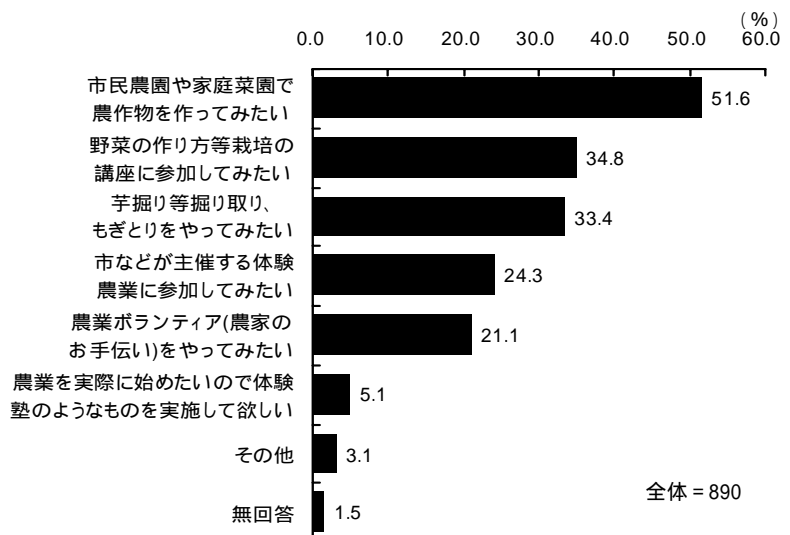


- 12 - (5) 市民参加型農業への参加希望内容

問．あなたが体験、参加してみたい内容について
(参加希望者、いくつでも)

市民参加型農業体験参加希望の内容は、「市民農園や家庭菜園で農作物を作りたい」51.6%、「野菜の作り方等栽培の講座」34.8%、「芋掘り等掘り取り、もぎとり」33.4%が高くなっています。

市民参加型農業への参加希望内容

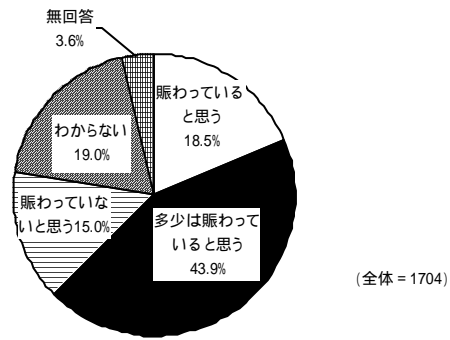


- 13 - (1) 多摩センター地区の賑わい状況

問．現在の多摩センター地区の賑わい状況は、他地区と比較してどう思いますか
(一つだけ)

多摩センター地区の賑わいの現状について、「賑わっていると思う」「多少は賑わっていると思う」を合わせると62.4%を占めています。

多摩センター地区の賑わい状況

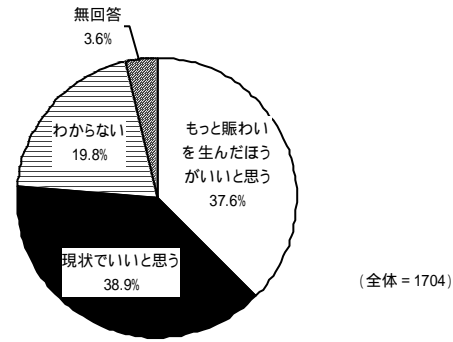


- 13 - (2) 多摩センター地区の賑わい状況の今後について

問．多摩センター地区の賑わい状況の今後について、どう思いますか
(一つだけ)

多摩センター地区の賑わい状況の今後については、「現状でいい」と「もっと賑わいを生んだ方がいい」がほぼ同数となっています。

多摩センター地区の賑わい状況の今後について

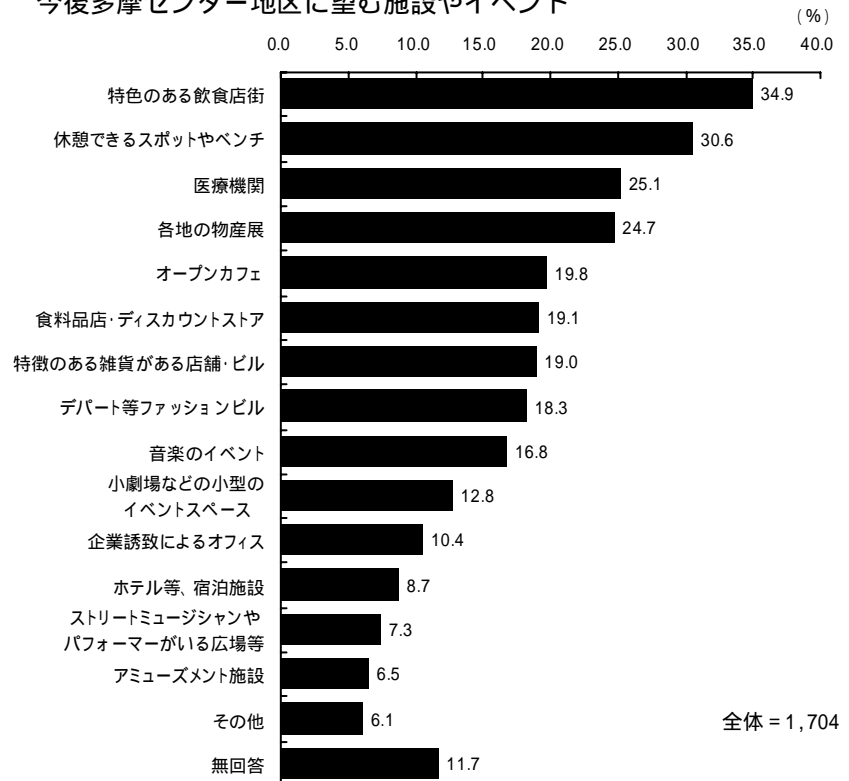


- 13 - (3) 今後多摩センター地区に望む施設やイベント

問．今後多摩センター地区に望むもの(施設やイベント等)
(いくつでも)

今後多摩センター地区に望むものは、「特色のある飲食店街」34.9%、「休憩できるスポットやベンチ」30.6%、「医療機関」25.1%、「各地の物産展」24.7%が高くなっています。

今後多摩センター地区に望む施設やイベント

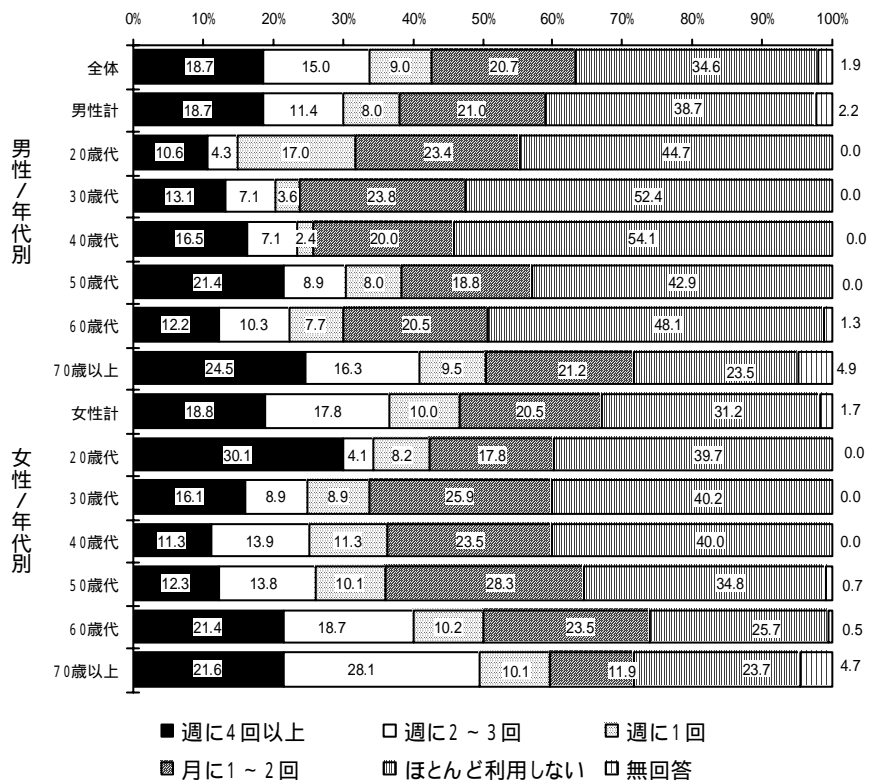


- 14 - (1) 路線バスの利用頻度

問. あなたは、ふだんどのくらい
路線バスを利用しますか。
(1つだけ)

路線バスの利用状況は、「週1
回」以上の利用者が42.7%となっ
ています。これを性・年代別でみ
ると、男性の「70歳以上」、女性
の「60歳代」、「70歳以上」で
50%以上と高くなっています。

路線バスの利用頻度(性・年代別)



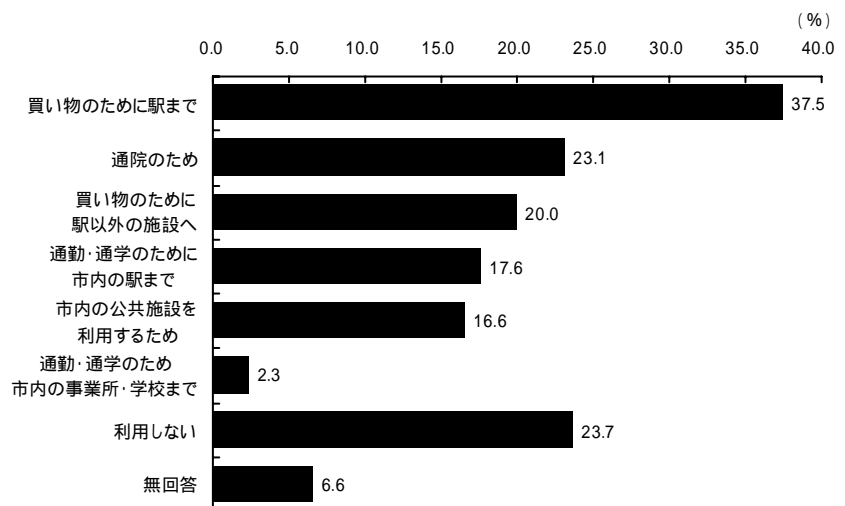
全体 = 1,635

- 14 - (2) どのような目的で路線バスを利用するか

問. あなたは、どのような目的で
路線バスを利用しますか。
(いくつでも)

路線バスを利用する際の目的
は、「買い物のために駅まで」
37.5%が最も多く、「通院のため」
23.1%、「買い物のために駅以外
の施設へ」20.0%がこれに続いて
います。

どのような目的で路線バスを利用するか



全体 = 1,704

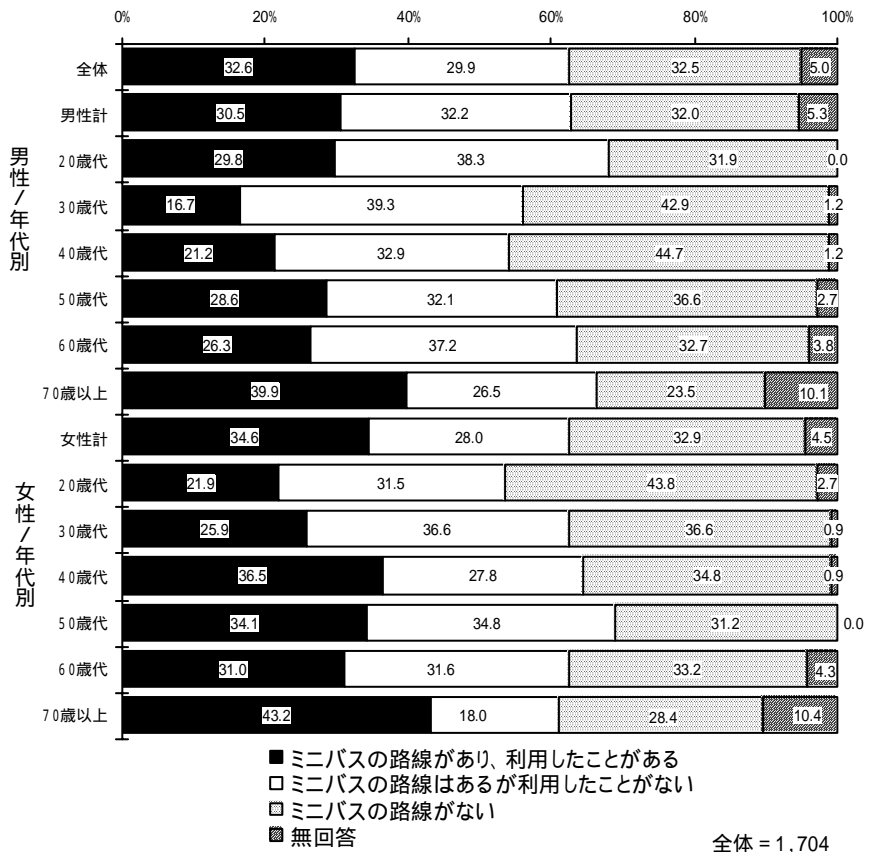
- 14 - (3) ミニバスの利用状況

問. あなたの地域で運行されているミニバスを利用したことがありますか。

(1つだけ)

ミニバスの利用状況は、「ミニバスの路線があり、利用したことがある」が32.6%となっています。性・年代別では男女とも、「70歳以上」が40%前後と高くなっています。

ミニバスの利用状況(性・年代別)



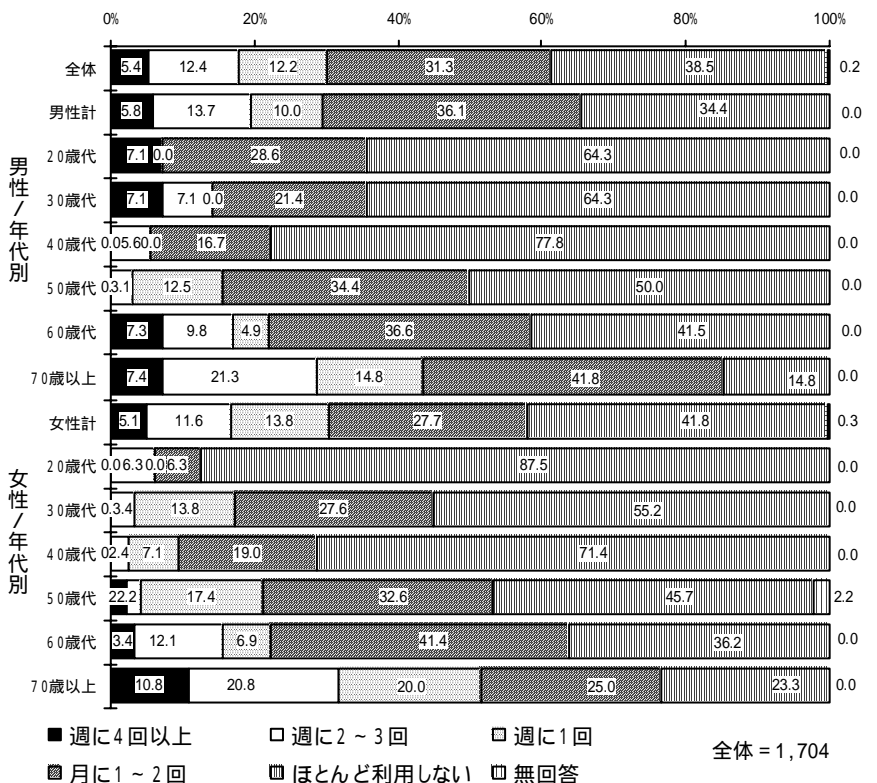
- 14 - (4) ミニバスの利用頻度

問. あなたは、ふだんどのくらいミニバスを利用しますか。

(ミニバス利用者)(1つだけ)

ミニバスの利用状況は、「週1回」以上の利用者が30.0%となっています。これを性・年代別で見ると、男性の「70歳以上」43.5%、女性の「70歳以上」51.6%と高くなっています。

ミニバスの利用頻度(性・年代別)

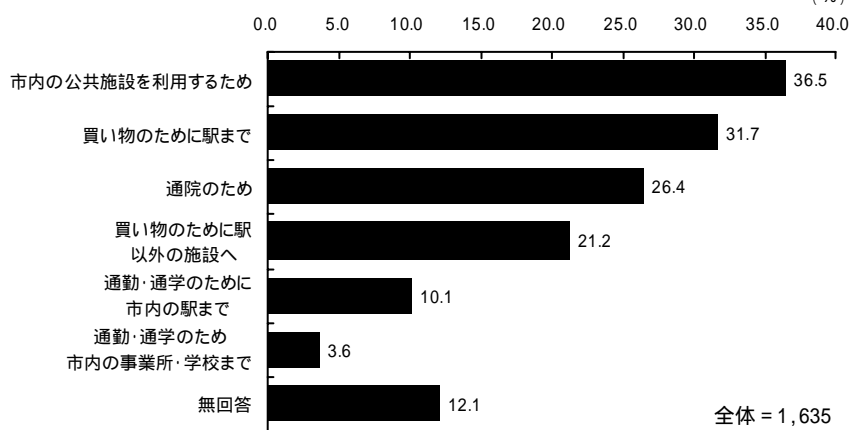


- 14 - (5) どの様な目的でミニバスを利用するか

問．どのような目的でミニバスを利用していますか。
(いくつでも)

ミニバスを利用する際の目的は、「市内の公共施設を利用するため」36.5%が最も多く、「買い物のために駅まで」31.7%、「通院のため」26.4%がこれに続いています。

どの様な目的でミニバスを利用するか

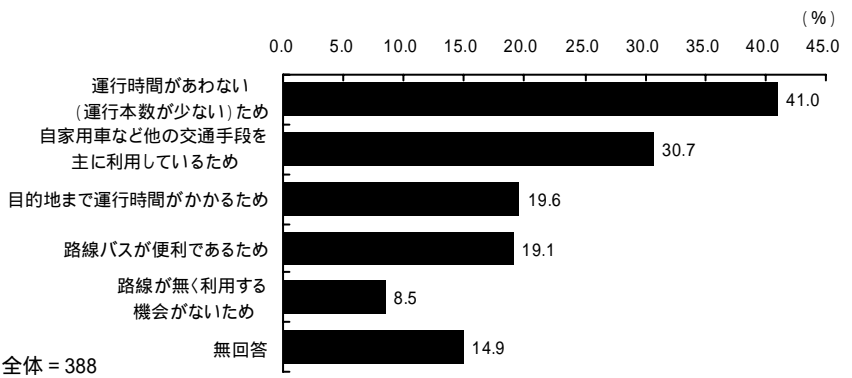


- 14 - (6) ミニバスを利用しない理由

問．あなたは、なぜミニバスを利用しないのですか
(あまり利用しない人)(いくつでも)

ミニバスを利用しない理由としては、「運行時間があわない(運行本数が少ない)ため」41.0%、「自家用車など他の交通手段を主に利用しているため」30.7%が高くなっています。

ミニバスを利用しない理由

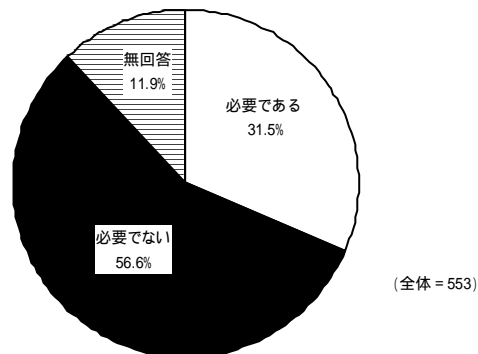


- 14 - (7) ミニバスの必要性

問．あなたの地域にミニバスは必要ですか。
(ミニバス路線のないかた)(1つだけ)

ミニバスの必要性については、「必要でない」56.6%が「必要である」31.5%を上回っています。

ミニバスの必要性



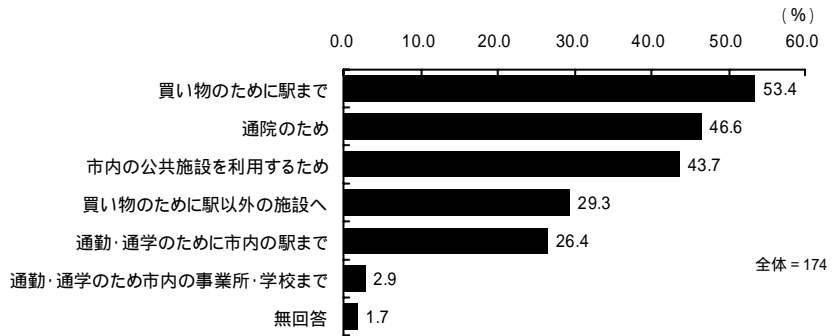
- 14 - (8) どの様な目的でミニバスを必要性とするか

問. ミニバスはどの様な目的で必要ですか。

(ミニバスは必要と思うかた)(いくつでも)

「買い物のために駅まで」53.4%、「通院のため」46.6%、「市内の公共施設を利用するため」43.7%が上位を占めています。

どの様な目的でミニバスを必要性とするか



- 14 - (9) ミニバスが必要でない理由

問. ミニバスが必要でない理由は何ですか。

(ミニバスは必要でないと思うかた)(いくつでも)

ミニバスが必要でない理由を見ると、「路線バスがあるから」52.7%が多くを占めています。

ミニバスが必要でない理由



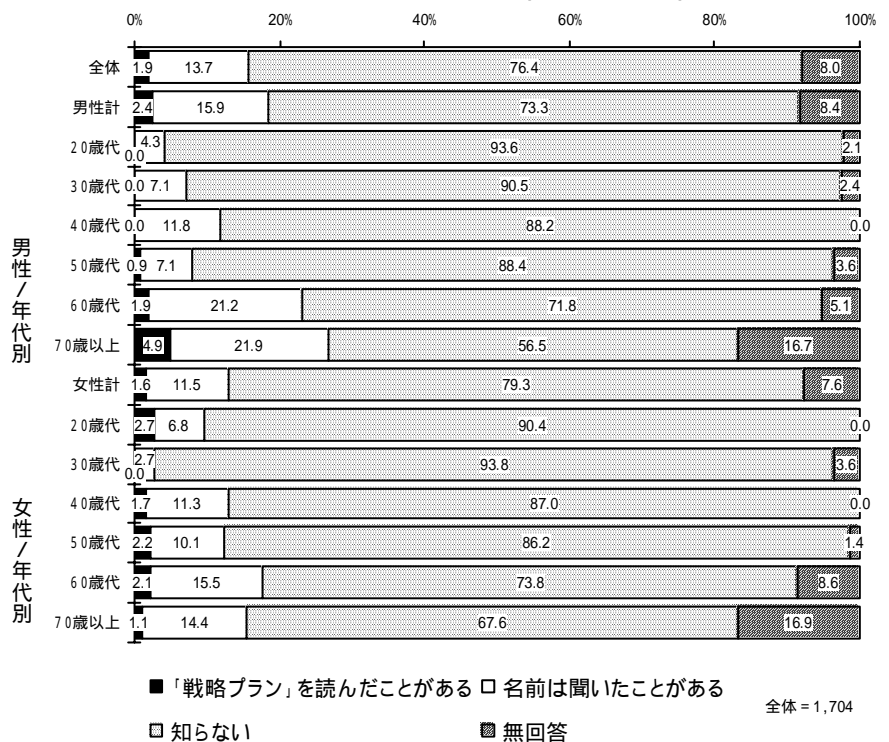
- 15 - (1) 多摩市総合計画「戦略プラン」の周知度

問. あなたは、平成18年3月に策定した「戦略プラン」を知っていますか。

(1つだけ)

「戦略プラン」の周知度は低く、「読んだことがある」は全体で1.9%、「名前を聞いたことがある」を含めても15.6%にとどまっています。性別では男性の方が周知度が高くなっています。また、年齢別では男性の「60歳代」、「70歳代」の周知度が高くなっています。

多摩市総合計画「戦略プラン」の周知度(性・年代別)



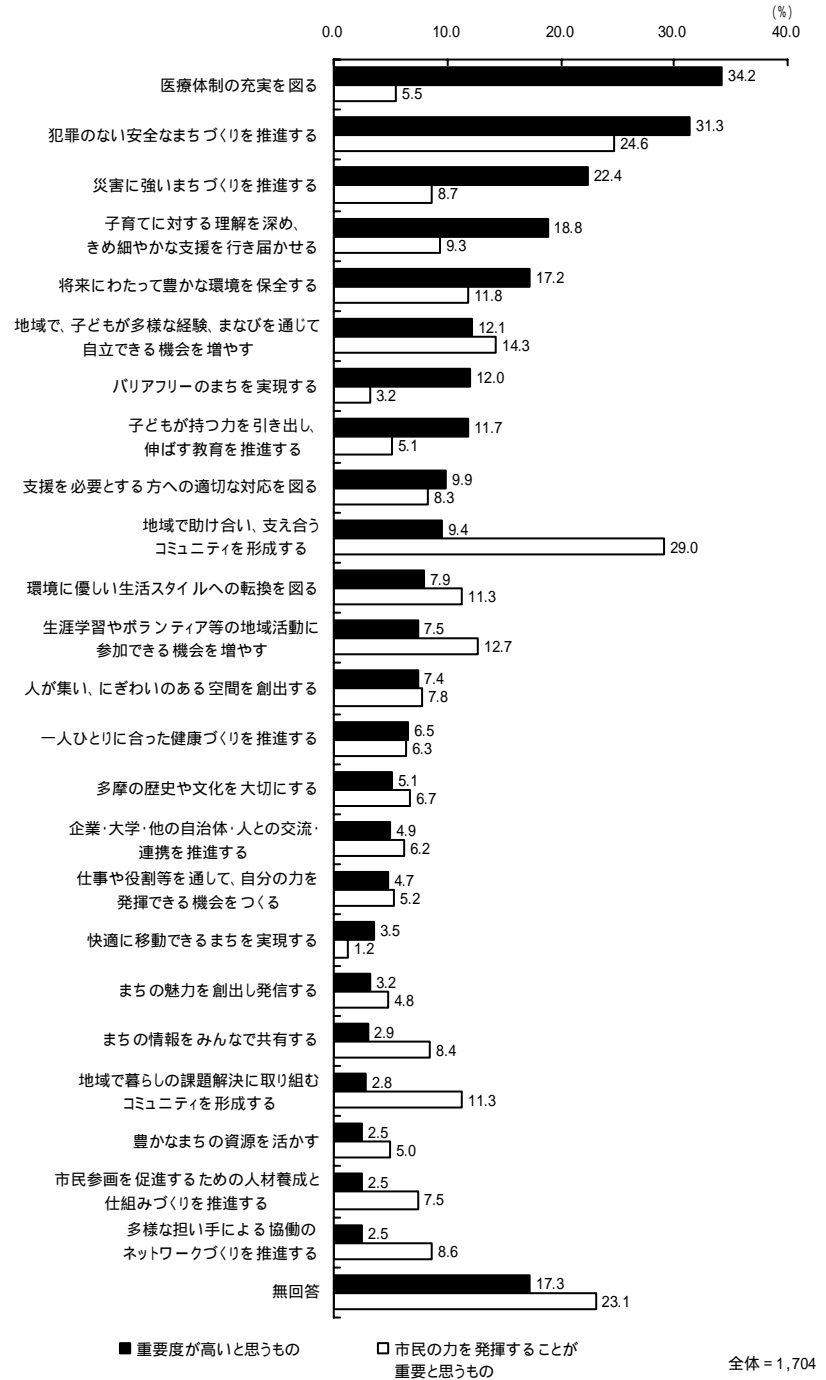
- 15 - (2) 「戦略プラン」の個別目標で重要度が高いと思われるもの

問. 「戦略プラン」に掲げる個別目標で重要度が高いと思われるもの(重要度が高いと思うもの、市民の力を発揮することが重要と思うもの)
(3つまで)

「戦略プラン」の個別目標で「重要度が高いと思うもの」は、「医療体制の充実を図る」34.2%、「犯罪のない安全なまちづくりを推進する」31.3%、「災害に強いまちづくりを推進する」22.4%が上位となっています。

「市民の力を発揮することが重要と思うもの」は、「地域で助け合い、支え合うコミュニティを形成する」29.0%、「犯罪のない安全なまちづくりを推進する」24.6%、「地域で、子どもが多様な経験、まなびを通じて自立できる機会を増やす」14.3%が上位となっています。

「戦略プラン」の個別目標で重要度が高いと思われるもの、市民の力を発揮することが重要と思われるもの



- 16 - (1) 日常生活での実感 (子育てのしやすさ)

問. 多摩市は子育てしやすいまちだと思いますか。

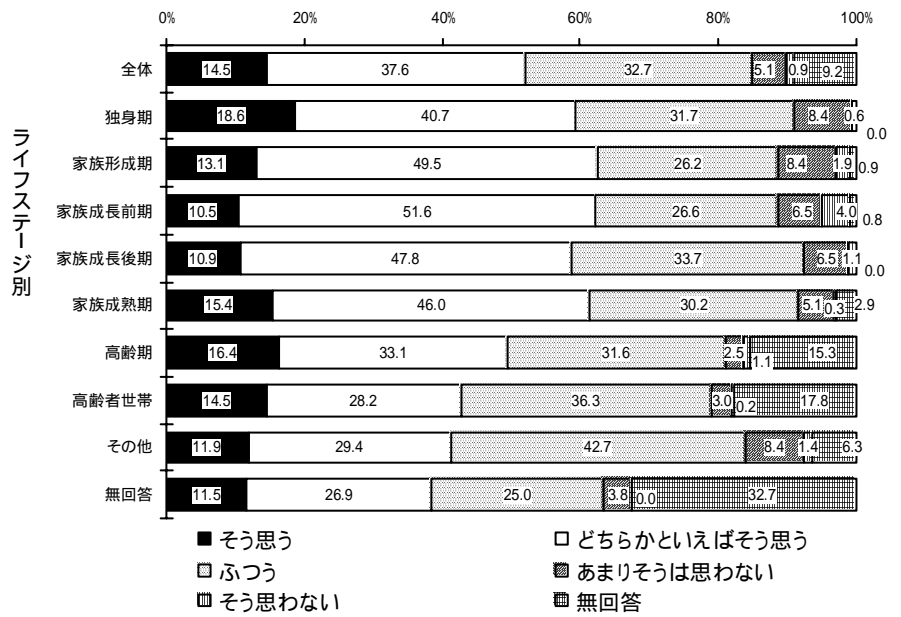
(1つだけ)

全体では肯定派が52.1%、否定派が6.0%となっています。

ライフステージ別でみると、「そう思う」は「独身期」「高齢期」で比較的高くなっており、また、「どちらかといえばそう思う」と合わせた「子育てしやすいまちだと思う」という意見は「独身期」から「家族成熟期」にかけて6割前後を占めています。

肯定派 = 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計
 否定派 = 「そう思わない」「あまりそうは思わない」の合計

子育てのしやすさ (ライフステージ別)



全体 = 1,704

- 16 - (1) 日常生活での実感 (防犯・防災面からみた安全性)

問. 多摩市は防犯・防災などの面から見て、安心・安全なまちだと思いますか。

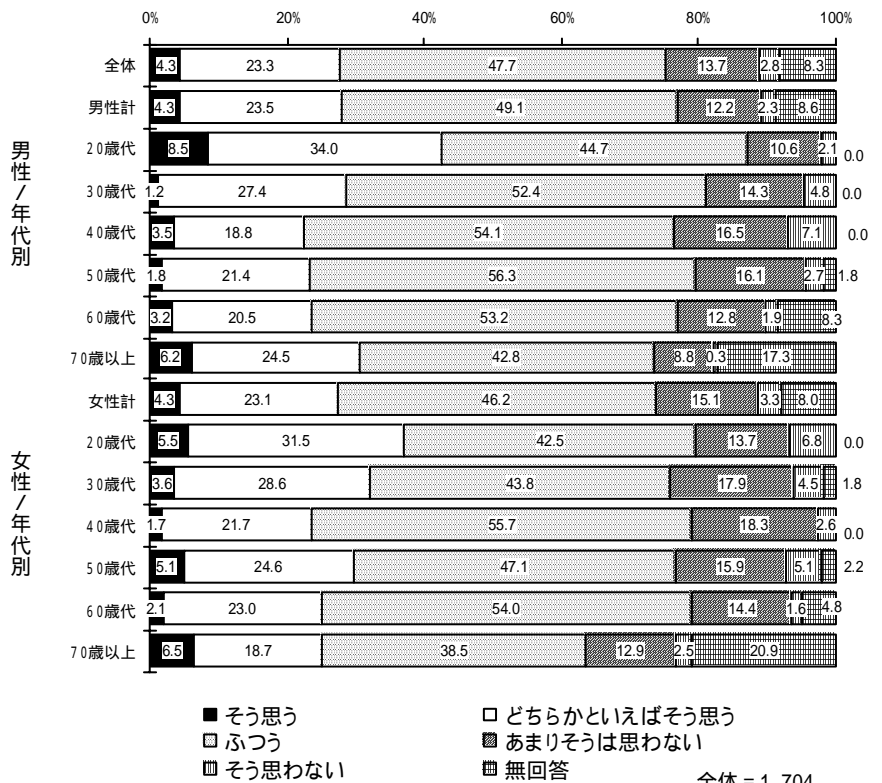
(1つだけ)

全体では肯定派が27.6%、否定派が16.5%となっています。

年代別でみると、「そう思う」が男性の「20歳代」で8.5%、「あまりそうは思わない」が女性の「30歳代」で17.9%、「40歳代」で18.3%と比較的高くなっています。

肯定派 = 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計
 否定派 = 「そう思わない」「あまりそうは思わない」の合計

防犯・防災面からみた安全性 (性・年代別)



全体 = 1,704

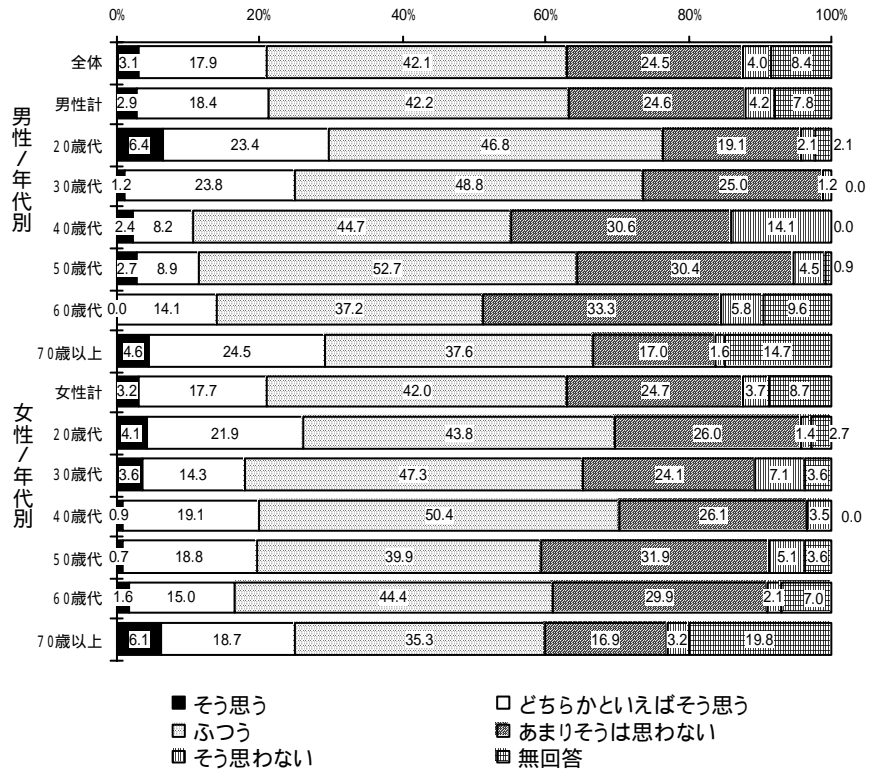
- 16 - (1) 日常生活での実感 (高齢者・障がい者等にとっての安全性)

問. 多摩市は高齢者、障がい者等が安全に安心して暮らすことができるまちだと思いますか。
(1つだけ)

全体では肯定派が21.0%、否定派が28.5%となっています。
年代別でみると、肯定派は男女とも「20歳代」と「70歳以上」が高く、否定派は男性の「40歳代」、「60歳代」、女性の「50歳代」で比較的高くなっています。

肯定派 = 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計
否定派 = 「そう思わない」「あまりそうは思わない」の合計

高齢者・障がい者等にとっての安全性 (性・年代別)



全体 = 1,704

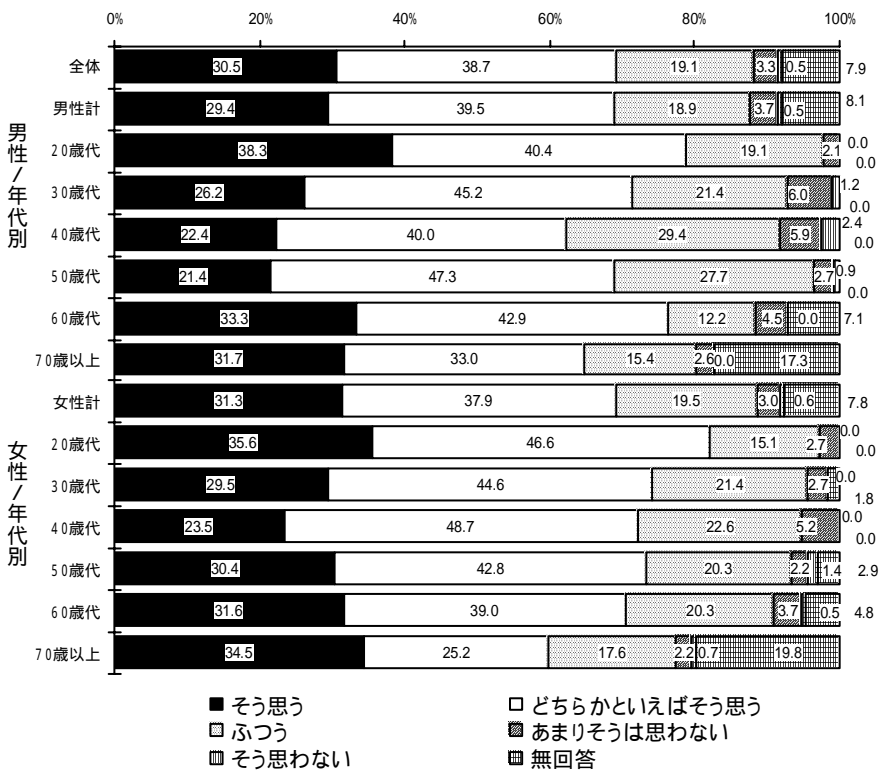
- 16 - (1) 日常生活での実感 (地域住民との関係について)

問. あなたは地域で困ったときに助け合える関係を築きたいと思えますか。
(1つだけ)

全体では肯定派が69.2%、否定派が3.8%となっています。
年代別でみると、肯定派は男性では「20歳代」「60歳代」、女性では「20歳代」が高くなっています。

肯定派 = 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計
否定派 = 「そう思わない」「あまりそうは思わない」の合計

地域住民との関係について (性・年代別)



全体 = 1,704

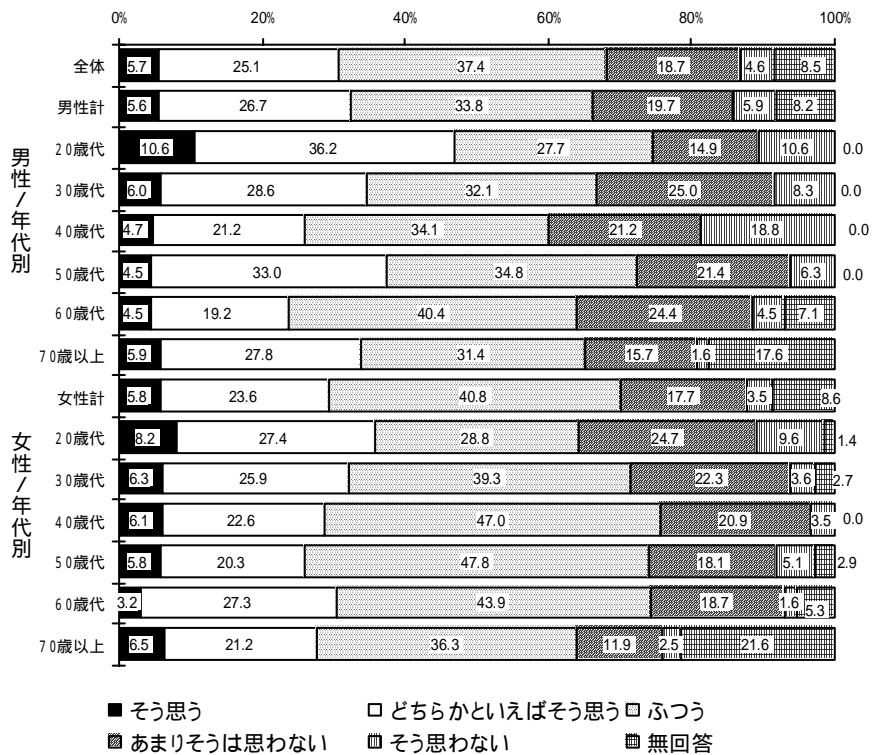
- 16 - (1) 日常生活での実感 (多摩市の魅力)

問. 多摩市を客観的に見て、魅力のあるまちだと思いますか。
(1つだけ)

全体では肯定派が30.8%、否定派が23.3%となっています。
年代別でみると、「そう思う」は男女とも「20歳代」で比較的高くなっています。

肯定派 = 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計
否定派 = 「そう思わない」「あまりそうは思わない」の合計

多摩市の魅力 (性・年代別)



全体 = 1,704

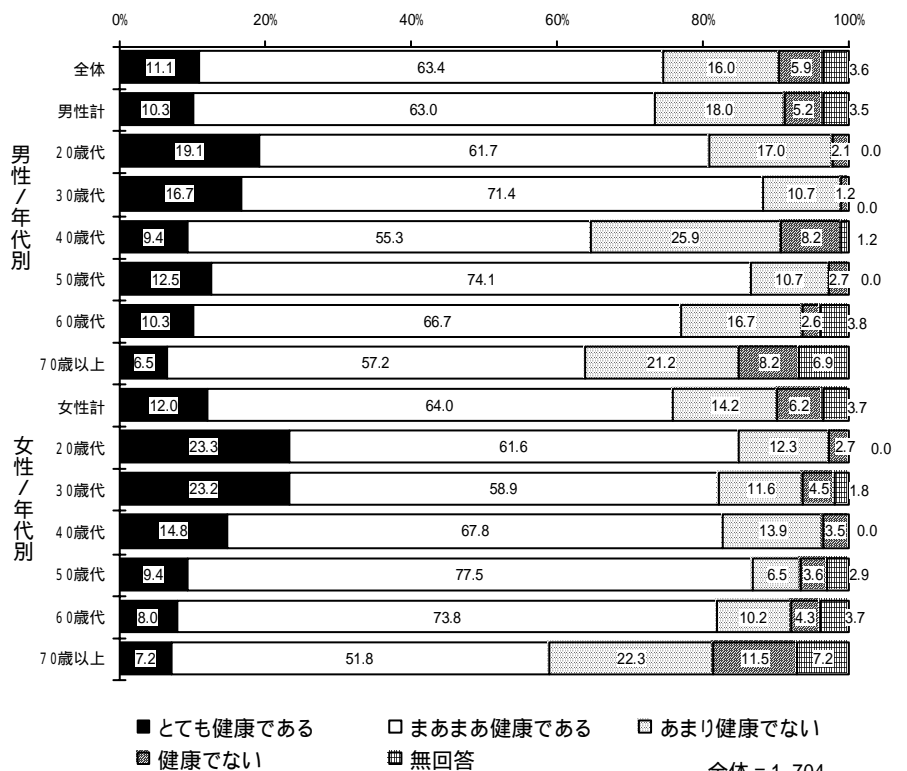
- 16 - (2) 現在の健康状態

問. 現在、あなたはご自身で健康だと思いますか。
(1つだけ)

全体では「健康である」が74.5%、「健康でない」が21.9%となっています。
年代別でみると、「とても健康である」は男性が「20歳代」、女性が「20歳代」、「30歳代」で最も高くなっていて、その割合は年代が上がるにつれて低くなっていく傾向にあります。

健康である = 「とても健康である」「まあまあ健康である」の合計
健康でない = 「健康でない」「あまり健康でない」の合計

現在の健康状態 (性・年代別)



全体 = 1,704

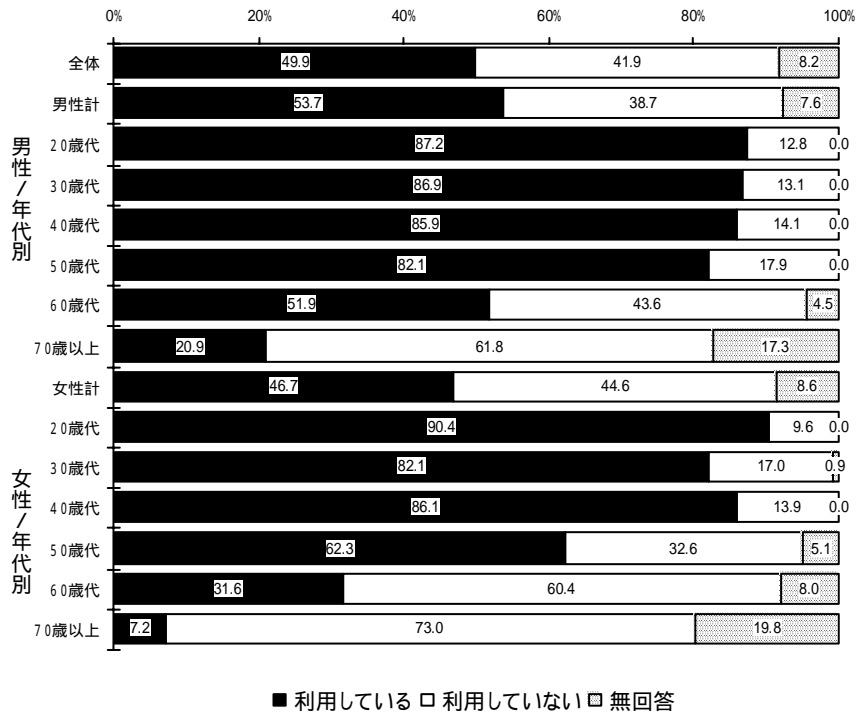
- 17 - (1) インターネットの利用状況

問．あなたは現在、インターネットを利用していますか。
(1つだけ)

全体では「利用している」が49.9%を占め、「利用していない」を上回っています。

年代別でみると、「利用している」は男性では「20歳代」「30歳代」「40歳代」が、女性では「20歳代」「40歳代」が85%以上を占め、高くなっています。

インターネットの利用状況（性・年代別）



全体 = 1,704

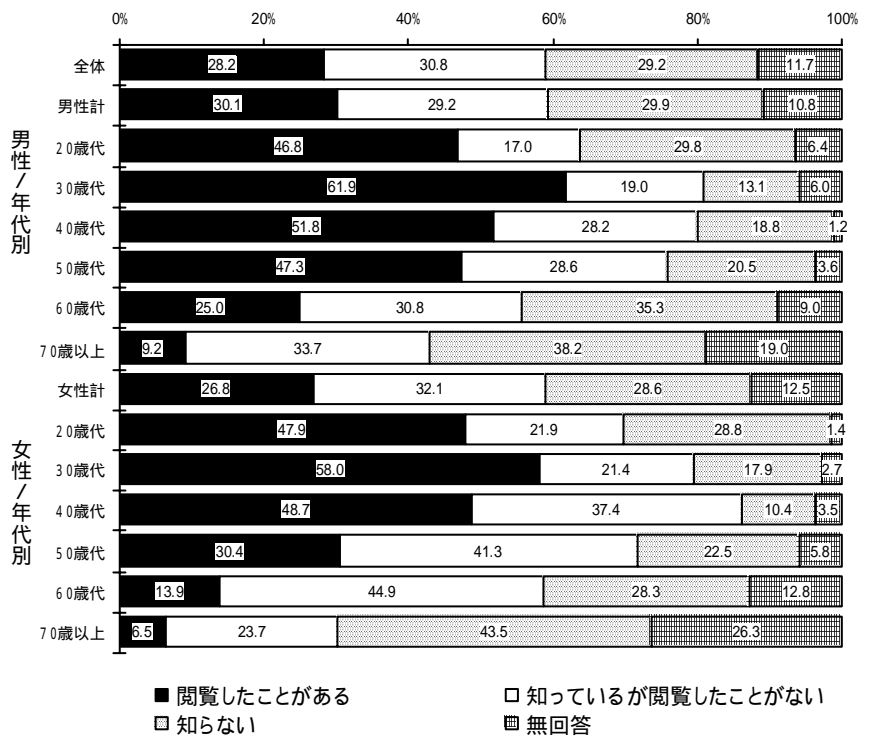
- 17 - (3) 多摩市公式ホームページの閲覧状況

問．あなたは多摩市公式ホームページを閲覧したことがありますか。
(1つだけ)

多摩市公式ホームページの閲覧状況についてみると、「閲覧したことがある」が全体の約3割を占め、「知っているが閲覧したことはない」と合わせると約6割となっています。年代別でみると、「閲覧したことがある」は男性女性とも「30歳代」で最も高く、6割前後を占めています。

また、男女ともに30歳代以降では高齢になるに従って、「知らない」の割合が高くなっています。

多摩市公式ホームページの閲覧状況（性・年代別）



全体 = 1,704

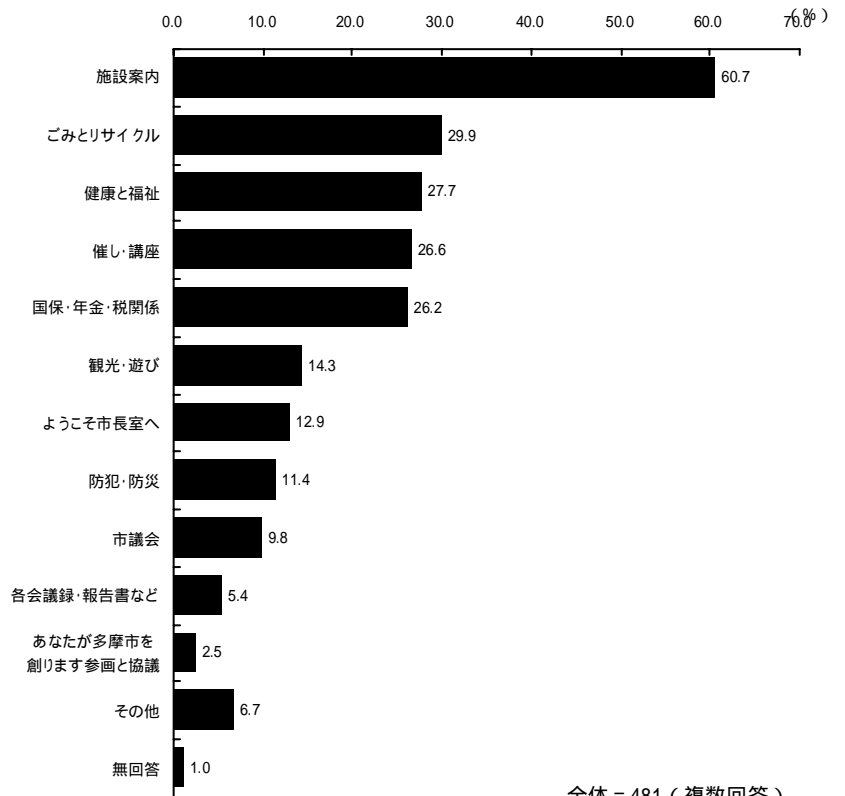
- 17 - (4) 多摩市公式ホームページの閲覧記事

問．多摩市公式ホームページの主にどのような記事を読覧していますか。

(いくつでも)

主な閲覧記事については、「施設案内」が60.7%と最も高くなっています。次いで「ごみとリサイクル」29.9%、「健康と福祉」27.7%、「催し・講座」26.6%、「国保・年金・税関係」26.2%の順となっています。

多摩市公式ホームページの主な閲覧記事



全体 = 481 (複数回答)

調査の概要

調査の対象となった方 : 20歳以上の市民
対象者数 : 3,000人
有効回収数 : 1,704人
回収率 : 56.8%
調査の方法 : 郵送配布回収
調査の実施時期 : 平成20年6月10日
~6月30日

《注意》

- ・ 図表中の「全体」とは、その設問に回答した人の数であり、設問によって異なります。
- ・ 回答結果は百分率(%)で表示しています。四捨五入しているため、%の合計が100%にならないことがあります。
- ・ また、複数回答の場合、%の合計が100%を超えることがあります。

この調査にご協力いただきました市民の皆様方に心よりお礼を申し上げます。

この調査結果は、「だれもが夢を持ち、互いに支えあうまち・多摩」をめざしていくための貴重な資料として役立てて参ります。

発行日：平成20年11月

発行：東京都多摩市 企画政策部 広報広聴課 市民相談係

電話 042(338)6806 (直通) F A X 042(338)3311 (直通)

多摩市公式ホームページアドレス <http://www.city.tama.lg.jp/>
